

地域医療支援病院業務報告書

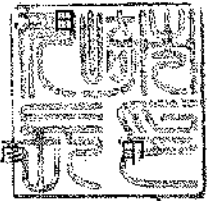
平成 30 年 9 月

(宛先)川崎市長 様

住 所 川崎市川崎区宮本町1

氏 名 川崎市 川崎市長

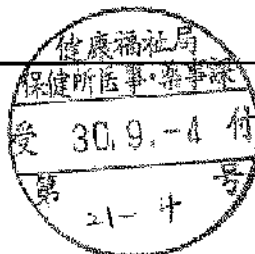
福田 紀彦



法人にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名
電話番号 044-200-2111(代表)

29年度の業務に関して報告します。

名 称	川崎市立川崎病院	電 話	044-233-5521
所在地	川崎市川崎区新川通12-1		
病床数	713 床		
病床種別	精神病床 38 床	感染症病床 12 床	結核病床 0床
	療養病床 0 床	一般病床 663 床	
施設の構造設備の概要			
集中治療室	院内の名称 ICU (主な設備) 病床数 8 床 人工呼吸器、セントラルモニタ、全自動血液ガス分析装置、外 別紙1-1 のとおり 特定集中治療室管理料3 受理番号 (集3)第30号 算定開始年月日 平成28年10月1日		
化学検査室	院内の名称 検体検査室 生化学自動分析装置、全自動グルコース測定装置、グリコヘモグロビン分析装置、外 別紙1-2 のとおり		
細菌検査室	院内の名称 細菌検査室 (主な設備) 血液培養装置、全自動同定・感受性検査装置/感染制御システム 別紙1-3 のとおり		
病理検査室	院内の名称 病理検査室 (主な設備) 電子顕微鏡、自動封入装置、自動染色装置、蛍光顕微鏡、外 別紙1-4 のとおり		
病理解剖室	院内の名称 解剖室 (主な設備) 病理検査支援システム、解剖台 別紙1-5 のとおり		



研究室	院内の名称 研究室 9.5 m ² 収容人数 6~10名 (主な設備) パソコン、電子カルテ端末、電話、 別紙1-6 のとおり
講義室	院内の名称 講堂 145.2 m ² (主な設備) 室数 1 室 収容定員 120人 可動式 プロジェクター マイク 別紙1-7 のとおり
図書室	院内の名称 図書室 (主な設備) 室数 1 室 蔵書数 12,000 冊程度 別紙1-8 のとおり
救急用又は 患者搬送用 自動車	院内の名称 救急自動車 (主な設備) 保有台数 1 台 トヨタTC-VCH32S 別紙1-9 のとおり
医薬品情報 管理室	院内の名称 DI室(専用室) 床面積 12.3 m ² (主な設備) 室数 1 室 パソコン5台 別紙1-10 のとおり

(注意) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入してください。

- 添付書類
- 1 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績に関する書類
 - 2 地域の医療従事者による診療、研究又は研修のために利用(共同利用)の実績に関する書類
 - 3 救急医療の提供の実績に関する書類
 - 4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績に関する書類
 - 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類
 - 6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績に関する書類
 - 7 医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績に関する書類
 - 8 患者相談の実績に関する書類

別紙 1-1 ICU

ICU

	機器名称	規格	数量
1	クーデックシリンジポンプ	CSP-100	18
2	クーデックシリンジ用 ポンプユナイター	PU3-200S	6
3	ビジレオモニター	MHM-1	1
4	ビジランスヘモダイナミックモニター	VIG2AP/OM-2/VIG2S	2
5	内視鏡ビデオ画像プロセッサ	OTV-SC	2
6	外部電源式内視鏡用光源装置	CLH-SC	2
7	移動型X線撮影装置	Mobile Art Revolution	1
8	全自動血液ガス分析装置	ノバ・バイオメディカルCCX	1
9	吸引器	S-711	12
10	吸引器	S901	2
11	咽喉ファイバースコープ	LF-TP	1
12	輸液ポンプ	TE-261	3
13	CEDV測定装置一式VGSV2	VGSV2	2
14	ICUトラムラック	TR-400P	11
15	ガートル台付ポンベカート	RR-972	2
16	心拍出量測定装置	エドワーズライフサイエンス Vigilance2	3
17	非侵襲的人工呼吸器	フィリップス・レスピロニクス V60	1
18	人工呼吸器	ドレーゲル エピタXL	2
19	人工呼吸器	FB980TYPE U	2
20	除細動器	日本光電 TEC-5631 他	2
21	在室患者監視システム	オムロンコーリン ベッドサイドモニター Solar8000i	10
22	ICU天井懸垂システム	インケアポートMODEL-277	8
23	高機能ICUベッド	パラマウントベッド KH-151	1
24	持続経線式血液浄化装置	旭メディカル ACH-Σ	2
25	フラッシューディスインフェクター	ゲティンゲジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1

別紙 1-2 化学検査室

化学検査室

	機器名称	規格	数量
1	生化学自動分析装置	BM-2250	2
2	全自動グルコース測定装置	GA-1170	1
3	グリコヘモグロビン分析装置	HA-8180	1
4	免疫測定装置	ARCHITECTi2000SR	1
5	CLEIA測定機器	LUMIPULSE Presto II	2
6	血中アンモニア測定装置	FDC-NX10N	1
7	血清ビリルビン分光光度計	B-105N	1

別紙 1-3 細菌検査室

細菌検査室

	機器名称	規格	数量
1	血液培養装置	シスメックス・ピオメリュー パクテアラート3D 360型	1
2	全自動同定・感受性検査装置/感染制御システム	ベックマン・コールター マイクロスキャンWALKAWAY96Plus	1
3	リアルタイム濁度測定装置	栄研化学 Loopamp EXIA	1

	機器名称	規格	数量
1	電子顕微鏡	日本電子 JEM-1010	1
2	自動封入装置	サクラ精機 SGC-400-D	1
3	自動染色装置	サクラ精機 DRS-2000B	2
4	蛍光顕微鏡	本体 ニコン ECLIPSE E800	1
5	密閉式自動固定包埋装置	サクラファインテックジャパン ETP-5-F	1
6	密閉式自動固定包埋装置	サクラファインテックジャパン プレミア	1
7	凍結組織切片作製装置	サクラファインテック ティッシュテック クライオ	1
8	凍結組織切片作製装置	サクラファインテック ティッシュテック ポーラー	1
9	全自動免疫染色装置	ライカ Bond-max	1
10	病理検査支援システム	インテック Expath II	1
11	ディスカッション顕微鏡	オリンパス BX53	1
12	光学顕微鏡	ニコン、オリンパス 各種	10

別紙 1-5 病理解剖室

病理解剖室

	機器名称	規格	数量
1	解剖台	サクラ精機 KBH-1A	1

別紙 1-6 研究室

面積 9.5㎡

パソコン1台(インターネット接続)

電話1台

電子カルテ端末 1台

平面図は別に添付

※ 連携登録医の受入を円滑にする目的で、別途「連携登録医室(鍵、ロッカー付)」も設置している。

別紙 1-7 講義室

面積 145.2㎡

収容定員 120名 (可動式座席1式)

プロジェクター 1台

別紙 1-8 図書室

書籍数 約 4,350冊
製本雑誌 約 5,200冊
購読雑誌 59誌(タイトル数)

電子ジャーナル 22誌

電子ジャーナルパッケージ JAMA complete Package(雑誌12誌)
Clinical Key(雑誌約600誌、書籍約1,100冊)
LWW Fixed10(雑誌10誌)、Journals Consult
医書jp(雑誌86誌)、メディカルオンライン(雑誌約1,300誌)

検索システム	医学中央雑誌web版	UpToDate	最新看護検索web
	メディカルオンライン	PubMed	
パソコン	イントラPC 2台	インターネットPC	5台
	スタンドアローン 2台		
	業務用 1台		

※ スタンドアローンの1台を除き、印刷が可能。

プロジェクター 3台(貸出)

上記スクリーン 2台(貸出)

平面図は別に添付

別紙 1-9 救急用自動車

地域医療支援病院用	1 台	(別に、DMAT用の救急車が1台ある)
型 式	トヨタ	TC-VCH32S
車台番号	VCH32-0001745	
自動車登録番号	川崎 800 す 2152	

救急自動車使用届出確認書、自動車検査証及び写真は別に添付

別紙 1-10 DI室

パソコン等	イントラPC 1台	インターネットPC 2台
	一般薬剤用PC 1台	麻薬専用PC 1台
	電子カルテ用端末 1台	

平面図は別に添付

(様式例 第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されている
 ことを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	61.3%	算定 期間	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日
地域医療支援病院 逆紹介率	84.9%		
算出 根拠	A：紹介患者の数		11,083人
	B：初診患者の数		18,075人
	C：逆紹介患者の数		15,350人

- (注) 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その1

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
2	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
3	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
4	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
5	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
6	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
7	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
8	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
9	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
10	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
11	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
12	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
13	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
14	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
15	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
16	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
17	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
18	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション	救急科
19	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
20	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その2

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
21	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
22	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
23	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
24	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
25	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
26	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
27	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
28	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
29	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
30	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
31	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
32	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
33	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
34	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
35	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
36	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
37	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
38	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
39	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
40	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その3

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
41	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
42	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	小児科
43	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	小児科
44	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	小児科
45	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	小児科
46	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 ロテーション・オンコール	小児科
47	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
48	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
49	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
50	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
51	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
52	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
53	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
54	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
55	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
56	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
57	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
58	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
59	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
60	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その4

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
61	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
62	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
63	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
64	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
65	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
66	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
67	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
68	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
69	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
70	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	脳神経外科
71	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	脳神経外科
72	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	形成外科
73	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	形成外科
74	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	血管外科
75	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	精神科
76	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	精神科
77	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	精神科
78	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	精神科
79	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	精神科
80	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	精神科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その5

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
81	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
82	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
83	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
84	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
85	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
86	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
87	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
88	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
89	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
90	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	皮膚科
91	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	泌尿器科
92	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	泌尿器科
93	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	泌尿器科
94	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	泌尿器科
95	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	泌尿器科
96	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科
97	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科
98	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科
99	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科
100	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その6

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
101	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科
102	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	産婦人科
103	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	眼科
104	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	眼科
105	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	眼科
106	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	耳鼻咽喉科
107	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	耳鼻咽喉科
108	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	耳鼻咽喉科
109	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	リハビリテーション科
110	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	リハビリテーション科
111	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	リハビリテーション科
112	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	放射線診断科
113	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	放射線診断科
114	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	放射線診断科
115	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	放射線診断科
116	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	放射線治療科
117	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	放射線治療科
118	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	放射線治療科
119	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
120	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その7

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
121	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
122	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
123	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
124	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
125	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
126	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
127	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
128	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	検査科
129	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	検査科
130	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	脳神経外科
131	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	脳神経外科
132	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	脳神経外科
133	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
134	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
135	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
136	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
137	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
138	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
139	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
140	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その8

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
141	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
142	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
143	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
144	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
145	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
146	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
147	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
148	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
149	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
150	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
151	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
152	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
153	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
154	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
155	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
156	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	内科
157	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
158	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
159	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科
160	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	外科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その9

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
161	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	整形外科
162	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	脳神経外科
163	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	形成外科
164	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	精神科
165	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
166	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
167	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
168	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	小児科
169	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	皮膚科
170	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	泌尿器科
171	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	婦人科
172	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	眼科
173	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	耳鼻咽喉科
174	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	耳鼻咽喉科
175	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
176	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
177	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
178	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
179	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科
180	医師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・オンコール	麻酔科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その11

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
2	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
3	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
4	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
5	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
6	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
7	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
8	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
9	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
10	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
11	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
12	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
13	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
14	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
15	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
16	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
17	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
18	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
19	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科
20	臨床検査技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	検査科

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その13

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
2	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
3	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
4	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
5	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
6	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
7	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
8	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
9	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
10	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
11	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
12	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
13	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
14	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
15	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
16	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
17	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
18	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
19	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部
20	薬剤師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	薬剤部

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その15

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
2	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
3	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
4	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
5	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
6	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
7	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
8	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
9	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
10	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
11	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
12	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
13	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
14	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
15	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
16	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
17	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
18	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
19	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科
20	診療 放射線 技師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	放射線診断科

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その18

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考	
1	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
2	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
3	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
4	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
5	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
6	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
7	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
8	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
9	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
10	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
11	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
12	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
13	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
14	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
15	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
16	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
17	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
18	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
19	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	
20	看護師		常勤	専従	平日 8時30分～17時	EICU
			非常勤	非専従	上記時間外 時間外・ローテーション	

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その19

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
1	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	EICU
2	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	EICU
3	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	EICU
4	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	EICU
5	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
6	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
7	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
8	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
9	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
10	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
11	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
12	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
13	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
14	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
15	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
16	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
17	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
18	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
19	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
20	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その20

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
21	看護員		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
22	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
23	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
24	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
25	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
26	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
27	看護員		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
28	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
29	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
30	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
31	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
32	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
33	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
34	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
35	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
36	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
37	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
38	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
39	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
40	看護員		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その21

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
41	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
42	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ER
43	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
44	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
45	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
46	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
47	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
48	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
49	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
50	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
51	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
52	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
53	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
54	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
55	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
56	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
57	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
58	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
59	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
60	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その22

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
81	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
82	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
83	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
84	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
85	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
86	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
87	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
88	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	ICU・CCU
89	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
90	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
91	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
92	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
93	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
94	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
95	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
96	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
97	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
98	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
99	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
100	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その23

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
101	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
102	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
103	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
104	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
105	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
106	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
107	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
108	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
109	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
110	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
111	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
112	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
113	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
114	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
115	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
116	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
117	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
118	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
119	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
120	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その24

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
121	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
122	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
123	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
124	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	手術室
125	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
126	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
127	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
128	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
129	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
130	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
131	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
132	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
133	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
134	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
135	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
136	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
137	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
138	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
139	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
140	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

その25

No.	職種	氏名	勤務の形態	勤務時間	備考
141	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
142	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
143	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
144	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
145	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
146	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
147	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
148	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
149	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
150	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
151	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
152	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
153	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
154	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
155	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
156	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
157	看護師		常勤 専従 非常勤 非専従	平日 8時30分～17時 上記時間外 時間外・ローテーション	外来
			常勤 専従 非常勤 非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床		床
専用病床	ER 16 床 EICU 4 床	

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

(様式例第13)

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター	266.91 m ²	(主な設備) 別紙 3-1のとおり	可
EICU	70.69 m ²	(主な設備) 別紙 3-2のとおり	可
一般撮影室	612.70 m ²	(主な設備) 別紙 3-3のとおり	可
CT室	262.90 m ²	(主な設備) 別紙 3-4のとおり	可
MR検査室	212.70 m ²	(主な設備) 別紙 3-5のとおり	可
生理検査室	356.50 m ²	(主な設備) 別紙 3-6のとおり	可
検体検査室	338.90 m ²	(主な設備) 別紙 3-7のとおり	可
ICU/CCU	167.42 m ²	(主な設備) 別紙 3-8のとおり	可
NICU/GCU	123.89 m ²	(主な設備) 別紙 3-9のとおり	可
内視鏡センター	201.40 m ²	(主な設備) 別紙 3-10のとおり	可
手術室	401.94 m ²	(主な設備) 別紙 3-11のとおり	可
透析室	83.20 m ²	(主な設備) 別紙 3-12のとおり	可
ヘリポート	249.30 m ²	(主な設備) 別紙 3-13のとおり	可

4 備考 別紙 3-14 3-15 及び 3-16 のとおり

救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院認定
 救急病院認定 「救急病院等の認定について(通知)平成28年12月6日(医第 432号)」
 平成29年2月1日から平成32年1月31日まで
 神奈川県告示第2555号 平成26年2月7日
 救急医療対策事業実施要綱(昭和52年7月6日付医発第692号厚生省医務局長通知)に規定する指定
 救命救急センターの指定「救命救急センターの指定について(通知)平成18年3月29日(医第 876号)」

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
 既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院
 の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付医発第692
 号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載する
 こと。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入 した救急患者の数	5,973人 (2,321 人)
上記以外の救急患者の数	21,282人 (473 人)
合計	27,255人 (2,794 人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車 別紙 1-9 のとおり

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

	機器名称	規格	数量
1	全身用X線CT装置	東芝 TSX-101A Aquilion CX	1
2	一般X線撮影装置	島津 R-30H	1
3	移動型X線撮影装置	島津 MOBILE Art Lumina	1
4	救急用ストレッチャー	日本ストライカー SM204	1
5	ポータブル超音波診断装置	ソノサイトジャパン マイクロマックス	1
6	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-2301	7
7	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-7105	1
8	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-7106	1
9	全自動血液ガス分析装置	パイエルメディカル ラピッドポイント405	1
10	人工呼吸器	P200D	1
11	搬送用人工呼吸器	ドレーゲルメディカル オキシログ3000	2
12	血液透析濾過装置	旭化成メディカル Plasauto IQ21	1
13	超音波診断装置	X-PORTE 他	2
14	フラッシュャーディスインフェクター	GETINGE607LCC-2P-50	1
15	超音波診断装置(救急用)	富士フイルムメディカル FAZONE M	1
16	経皮的心肺補助装置	テルモ キャピオックスEBS	1
17	小型冷温水層	メラ HHC-51	1
18	ストレッチャー	K-726 他	11
19	二又アウトレット	MS2-OS	1
20	体温管理システム	アークティックサン モデル2000	1
21	処置診断用照明機器	山田医療照明 SKYPET II	1
22	手術用无影灯	山田医療照明U6360他	2
23	挿管用咽頭鏡	AWS-S100L	3
24	携帯型軟性内視鏡	MAF-GM	1
25	産婦人科診察台	DG-310	1
26	薬用冷蔵冷凍庫	MPR-215F-PJ	1

別紙 3-1 救命救急センター

救命救急センター

	機器名称	規格	数量
27	製氷機	ICE MAKER20	1
28	酸素流量計・圧力調整器	G-10L 他	3
29	除細動器	TEC-5631	1
30	電動診察台	EX-2V	1
31	心電計	ECG-2550	1
32	ミニドブプレックスドプラー		1
33	全自動血圧計	TM2655P	1
34	急性期患者情報システム	オムロン ERシステム	1
35	心臓マッサージシステム	LUCAS YM2	1
36	患者加温装置	タイコ ウォームタッチモデルS200	1

別紙 3-2 EICU

EICU

	機器名称	規格	数量
1	エアーマット	CR-280 他	2
2	人工呼吸器	コヴィディエンPB040	4
3	人工呼吸器	ドレーゲルメディカル ザビーナ	2
4	シリンジポンプ	テルモ TE-331S 他	12
5	シャウカステン	10inverter Moryama x-ray	1
6	医用テレメーター	日本光電 WEP-5105 他	21
7	デジタル体重計	BWB-627	1
8	ストレッチャー	K726	1
9	温蔵庫	HC-18S	1
10	冷蔵庫	GF-H13H	1
11	処置灯	No.30S	2
12	吸引器	S-711	18
13	心電計	ECG-1250	1
14	殺菌線消毒ロッカー		1
15	汎用血液ガス分析装置	405システム	1
16	フラッシューディスインフェクター	GETINGE607LCC-50	1
17	清拭車	NS-910	1
18	無音振冷蔵庫	TY-C15	1
19	空気清浄器	ACP-895BH-AI	1
20	薬用冷蔵ショーケース	DC-ME31A	1
21	製氷機	CM-60A	1
22	解析機能付セントラルモニタ	CNS-9701	2
23	超音波診断装置	ソノサイト LO432b 他	2
24	輸液ポンプ	JMS OT-888	30
25	間欠型空気圧式マッサージ器	ノバメディックス	1
26	除細動器	日本光電 TEC-5631 他	2

別紙 3-2 EICU

EICU

	機器名称	規 格	数量
27	電動ICUベッド	モデル1900	7
28	人工呼吸器	コヴィディエンPB840	4

一般撮影室

	機器名称	規格	数量
1	一般X線撮影装置	東芝 MRAD-A80S	6
2	乳房用X線撮影装置	東洋メディック diamond	1
3	遠隔式X線透視撮影装置	島津 C-vision Safire17	1
4	遠隔式X線透視撮影装置	島津 SONIALVISION G4	1
5	移動型X線撮影装置	島津 CALNEO G ₀	1
6	パノラマ撮影X線装置	モリタ X500CP-CR	1

別紙 3-4 CT室

CT室

	機器名称	規格	数量
1	全身用X線CT装置	東芝 TSX-101A Aquilion NA	1
2	全身用X線CT装置	東芝 TSX-102A Aquilion HA	1

別紙 3-5 MR検査室

MR検査室

	機器名称	規格	数量
1	超伝導式磁気共鳴画像診断装置	フィリップス Intera Achieva NOVA Dual 1.5T	1
2	超伝導式磁気共鳴画像診断装置	フィリップス Intera Achieva NOVA Dual 1.5T	1

別紙 3-6 生理検査室

生理検査室

	機器名称	規格	数量
1	脳波検査システム	日本光電 EEG-1218	1
2	超音波診断装置(生理検査)	GE横河メディカルシステム LOGIQ7	1
3	心電計	日本光電 ECG-2550	1
4	心電計	日本光電 ECG-1550	3
5	脳波計	日本光電 EEG-1214	1
6	新生児用聴覚検査装置	日本光電 MAAS	1

別紙 3-7 検体検査室

検体検査室

	機器名称	規格	数量
1	生化学自動分析装置	BM-2250	2
2	全自動グルコース測定装置	GA-1170	1
3	免疫測定装置	ARCHITECTi2000SR	1
4	CLEIA測定機器	LUMIPULSE Presto II	2
5	血中アンモニア測定装置	FDC-NX10N	1
6	血清ビリルビン分光光度計	B-105N	1
7	自動血球分析装置	XE-5000	2
8	血液凝固分析装置	CS-2100i	2
9	血液ガス測定装置	Rapidlab 1265	2
10	全自動尿分析装置	AX-4D30	1
11	電解質分析装置	PVA-EX II	1
12	浸透圧測定装置	OM-6060	1
13	尿自動分析装置	US-2200	1

			ICU
	機器名称	規格	数量
1	クーデックシリンジポンプ	CSP-100	18
2	クーデックシリンジ用 ポンプユナイター	PU3-200S	6
3	ビジレオモニター	MHM-1	1
4	ビジランスヘモダイナミックモニター	VIG2AP/OM-2/VIG2S	2
5	内視鏡ビデオ画像プロセッサ	OTV-SC	2
6	外部電源式内視鏡用光源装置	CLH-SC	2
7	移動型X線撮影装置	Mobile Art Revolution	1
8	全自動血液ガス分析装置	ノバ・バイオメディカルCCX	1
9	吸引器	S-711	12
10	吸引器	S901	2
11	咽頭ファイバースコープ	LF-TP	1
12	輸液ポンプ	TE-261	3
13	CEDV測定装置一式VGSV2	VGSV2	2
14	ICUトラムラック	TR-400P	11
15	ガートル台付ボンベカート	RR-972	2
16	心拍出量測定装置	エドワーズライフサイエンス Vigilance2	3
17	非侵襲的人工呼吸器	フィリップス・レスピロニクス V60	1
18	人工呼吸器	ドレーゲル エピタXL	2
19	人工呼吸器	PB980TYPE U	2
20	除細動器	日本光電 TEC-5631 他	2
21	在室患者監視システム	オムロンコーリン ベッドサイドモニタ Solar8000i	10
22	ICU天井懸垂システム	インケアポートMODEL-277	8
23	高機能ICUベッド	パラマウントベッド KH-151	1
24	持続緩線式血液浄化装置	旭メディカル ACH-Σ	2
25	フラッシュャーディスインフェクター	グティンゲジャパン GETINGE607LGG-2P-50	1

	機器名称	規格	数量
1	鼻腔式持続陽圧呼吸補助装置	エアウォーター インファントフローサイバップ	2
2	超音波診断装置	東芝 Xario	1
3	新生児用人工呼吸器	ドレーゲル Babylog 8000plus	4
4	新生児用人工呼吸器	イワキ カリオペα	2
5	光凝固装置	エレックス ソリテア	1
6	血液ガス分析装置	ラジオメーター ABL835FLEX	1
7	CRシステム	コダック CR ELITE-19	1
8	ポータブルX線撮影装置	シーメンス MOBILETT XP	1
9	CRP測定器	日水製薬 エバネットEV20	1
10	脳機能モニタ	アイエムアイ16ch 124 01 20	1
11	呼吸機能測定装置	アイビジョンアーフェルⅢ	1
12	閉鎖式保育器	アトムメディカル	6
13	生体情報モニター	フィリップス MP50	5
14	体温管理システム	アイ・エム・アイ アークティックサン	1
15	搬送用保育器	アトムメディカル V-808 SpO2	2
16	開放型保育器	アトムメディカル インファウオーマーI	1

	機器名称	規格	数量
1	電子内視鏡システム	オリンパスEVIS ルセラ260システム	1
2	大腸ビデオスコープ	オリンパス PUF-240I	2
3	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q260	3
4	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q240	1
5	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260	6
6	上部消化管処置用2チャンネル内視鏡	オリンパス GIF-2T240	1
7	十二指腸用電子スコープ	オリンパス JF-240	1
8	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス TJF-240	1
9	下部消化管用ビデオスコープ	オリンパス PCF-230	1
10	下部消化管ビデオスコープ	オリンパスCF-H260A2I	1
11	ベットサイドモニター	日本光電 BSM-83D1	1
12	内視鏡管理システム	オリンパス SolemioENDO	1
13	高周波手術装置	エルペ VIO-300D	1
14	気管支ビデオスコープ	オリンパス EVISLUCERA BF-6C260	1
15	アルゴンプラズマシステム	アムコ アルゴンプラズマ APC300 他	1
16	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260Z	3
17	気管支超音波穿刺システム	オリンパス スコープ BF-UC260F-OL8/観測装置EU-C2000	1
18	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-XP260F	1
19	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q260AI	3
20	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q260AZI	1
21	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス JF-260V	2
22	超音波内視鏡システム	オリンパス EU-ME1他	1
23	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-P260F	1
24	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-XP260NS	1
25	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-260	1
26	内視鏡室マネジメントシステム	Solemio ENDO Ver. 4	1

別紙 3-10 内視鏡センター

内視鏡センター

	機器名称	規格	数量
27	電子内視鏡システム	LUCERA ELITE CV-290	4
28	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-H290	2
29	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-H290Z	1
30	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-HQ290	1
31	下部消化管ビデオスコープ	オリンパス PCF-H290ZI	1
32	下部消化管ビデオスコープ	オリンパス CF-HQ290ZI	1
33	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-P290	2
34	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-1TQ290	1
35	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-1T260	1

	機器名称	規格	数量
1	弁手術用開胸器システム	St. Jude Medical KS-7002 他	1式
2	整形外科腹腔鏡下手術システム	カールストルツ エンドビジトリカム 他	1式
3	婦人科用腹腔鏡システム	オリンパス UHI-3 他	1式
4	外科内視鏡システム	オリンパスCLV-190他	6
5	耳鼻科用内視鏡手術装置	ストライカー MV-882TE 他	2
6	泌尿器科内視鏡システム	オリンパスOEV191H-J	1
7	脳神経外科内視鏡セット	オリンパス工業 光学視管(A7500A)他	1式
8	脳外科用手術顕微鏡	OPMI CS-NC+NC2	1
9	尿管鏡	原田産業 M3テレスコープ 他	1
10	頭部固定装置(バデーハローリトラクター)		1
11	電動手術台(手術台テーブル)	マッケ・ジャパン 1150. 15DO	1
12	電気手術装置システム	エルベ VIO300D	1
13	電気手術装置	アムコ VIO300D	1
14	電気メス装置	エルボトーム ICC350	1
15	電気メス	バリーラブ フォースFX 本体 他	3
16	超音波診断装置(外科)	SSA-240A	1
17	超音波凝固切開装置	ジョンソン・エンド・ジョンソンハーモニック スカルペル II 他	1
18	超音波画像診断装置	LOGIQ S8 GE	1
19	創外固定器システム		1
20	全身麻酔器	GE横河メディカル エスティバ7900	6
21	全身麻酔器	GEヘルスケア アバンスケアステーションPro	4
22	生体情報モニタ	オムロンコーリンソーラー8000I	12
23	セントラルモニタ	オムロンMP100D	1
24	心拍出量測定装置	エドワーズライフサイエンス VIG2 他	2
25	手術用無菌水手洗装置	MRE-SR-3型, 2型	1
26	手術顕微鏡装置	カールツァイス	1

	機器名称	規格	数量
27	自動洗浄除染乾燥装置	エムエス WD-LS-76CS	1
28	自己血回収システム	セルセーバー5 CS-2005	2
29	耳鼻科用ドリルシステム	ジンマー オステオドリルシステム 5038-001	1
30	耳鼻咽喉科用手術顕微鏡	ライカ M500-N-MS-1	1
31	子宮鏡セット	オリンパスヒステロスコープ HYF-XP他	1
32	高周波ラジオ波メス	エルマン・ジャパン サージマックス	1
33	血管内超音波診断装置	ボストン・サイエンティフィック ILAB100	1
34	結石破碎装置	コントロールユニットCH-1260Nyon	1
35	経皮的循環補助システム	テルモ キャピオックスEBS	1
36	経食道トランスジューサー	オムニプレーン2 21367A	1
37	患者監視装置	日本コーリン BP-508	2
38	外科用X線テレビ装置	日立メディコ SIRIUS Floating/C	1
39	外科用X線テレビジョン装置	OEC-9600	1
40	マイダレックスモーターシステム	ムラナカ	1
41	マイクロ波手術器	OT-110M	1
42	バリーラブフォースGSUユニット	米国バリーラブ社	1
43	ハーモニックスカルペル	ジョンソン&ジョンソン GEN04	1
44	ナビゲーターGPSシステム	タイコヘルスケア 097010 他	1
45	ナビゲーションシステム	メトロニック TERON plus システム	1
46	ドリルシステム	日本メトロニック マイダレックス・ハイスピードドリル・レジェンド・システム	1
47	鏡視下脊椎手術セット	メトロニック METRx システム	1
48	イリゲーション付バイポーラセット	J&J CMC-3	1
49	CT定位脳手術装置	駒井式	1
50	電気手術装置	バリーラブ ForceTriad	6
51	超音波血流計	Medi-Stim社 トランジットタイム血流計VQ4122	1
52	耳鼻科用シェーパードリルシステム	メトロ・ソファモアダネック C9800	1

	機器名称	規 格	数 量
53	喉頭観察鏡システム	オリンパス PortaView-LF	1
54	急速輸液加熱システム	スミスメディカル レベル1システム/レベル1ホットライン	1
55	マイクロサージェリー手術台	瑞穂医科 最低位41cm以下	1
56	皮膚灌流圧測定器	カネカメディックス PAD3000	1
57	周術期患者情報システム	オムロンコーリン	1
58	外科用手術顕微鏡システム	ライカ他M525-MS3/MKC-507	1
59	電動マイクロドリル	ストライカーコアシステム	1
60	気道式ドリルシステム	エースクラップ他ハイランHSコンプリートスペック他	1
61	ラジオフリークエンシーシステム	スミアンドネフュー他ValcanEASSystem他	1
62	外科用X線TV装置	東芝メディカルシステムズ	1
63	処置用ビデオスコープ	オリンパス ENF-VT2	1
64	腎盂/上下尿路観察鏡セット	オリンパス URF-V他	1
65	整形外科用ドリルシステム	ストライカー コードレスドライバー3	1
66	電気メス	東機質 ベサリウスMCM	1
67	電気けいれん治療器	光電メディカル サイマトロン	1
68	電解質TUR+内尿道切開システム	オリンパス WA22367A 他	1
69	手術顕微鏡システム	ライカ OH4	1
70	脊椎内視鏡SPINAL ENDOSCOPESセット	カールストルツ spinal endoscopesセット	1
71	超音波吸引システム	オリンパス SONOSURG-G2	1
72	デュアルイメージングカラーモジュール	ライカ DIC500FL	1
73	開胸器(一般)	日本ストライカー システム7 胸骨鋸ハンドピース他	1
74	眼科用冷凍手術システム	キーラー・アンド・ワイナー クライオマチック M-4100	1
75	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン VIVIDi	1
76	バッテリーハンドピース	日本ストライカー システム7 シングルトリガーロータリーハンドピース	1
77	下肢静脈瘤レーザー治療用超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン LOGIQe Expert	1
78	眼底観察システム	カールツァイス Resight 他	1

	機器名称	規格	数量
79	下肢静脈瘤レーザー治療器	インテグラル ELVeSレーザー	1
80	移動型外科用X線撮影装置	GEヘルスケア・ジャパン OEC9900 Elite Standard-c 12Inch	1
81	手術用治療機器	オリンパス Surgical Tissue Management	1
82	白内障・硝子体手術装置 内視鏡システム	日本アルコン コンステレーションビジョン システムLXT	1
83	眼科手術器具	ジアテルミーユニット	1
84	軟性尿管ビデオスコープ	オリンパス URF-V 他	1
85	手術用无影灯STERIS LED 2灯式	アムコ S27-0724 他	1
86	電解質溶液下レゼクトセット	オリンパス OTV-S7ProH-HD-10 9e D 他	1
87	手術用ナビゲーションシステム	ブレインラボ KICKナビゲーションシス テム	1
88	電動手術台	マッケジャパン	1
89	汎用循環器X線診断装置	フィリップス Allura Xper FD20	1
90	心血管用X線診断装置	フィリップス ALLURA Xper FD10/10	1
91	大動脈内バルーンポンプ	エドワーズライフサイエンス CS-100	1
92	人工心肺装置 一式	スタッカート スタッカートS5	1
93	人工心肺操作記録支援システム	PC-CAPTAIN MTS910	1
94	人工心肺CDI500 一式	CV-500 他	2
95	麻酔時患者監視装置	日本光電BISモニターA-2000 他	7
96	混合血酸素飽和度監視システム	日本光電 INVOS4000 他	1
97	動脈圧心拍出量測定装置	エドワーズライフサイエンス ビジレオモニター	1
98	超音波診断装置	GE横河メディカル VIVID I	1
99	人工呼吸器解析装置システム	大正医科 VT-PLUS	1
100	全自動血液ガス分析装置	ノバ・メディカル スタットプロファイルCCX1	1
101	経皮的循環補助システム	テルモ キャピオックスEBS他	1
102	Tec6 プラス 気化器	デスフルラン	1
103	TEC7 気化器	セボフルラン8%	4
104	オメダレギュレータ	MJ-1042	1

別紙 3-11 手術室

手術室

	機器名称	規格	数量
105	カート	ダイオニクス25用	1
106	クリーンタオルボックス	MS-2RS	4
107	コマンド2	2296-1 他	2
108	サンダーピートー式	TD-TB400/WB50402W 他	1
109	トラムラック	TR-400P	1
110	ストレッチャー	K726	2
111	ドップラー血流量計	710A	1
112	ネルコアオキシセンサープローブ	DS100A	10
113	バッテリーチャージャー	100V	4
114	パルスオキシメーター	N-600X	1
115	ヘモオキシメータ	OSM3	1
116	ヘモクロンデジタル電子温度点検チューブ	HR1003	1
117	ペースメーカー	EDP 20/E	1
118	ホットキャビ	EK-104	1
119	ポータブルモニター	NPB-4000	1
120	マグナス手術台システム		1
121	マルチフローポンプ	JMS	1
122	ミストクリーン	MCM01	1
123	冷温水層	メラ	3
124	レーザー手術器	YAGレーザー IH102	1
125	二又アウトレット	MS2-OS	1
126	除細動器	ライフバック12	1
127	保冷库	MDF-137	1
128	保育器	アトム V-3600HL	1
129	光学視管12°	A22001A	1
130	光学視管70°	A22003A	1

	機器名称	規格	数量
131	全自動卓上型高圧蒸気滅菌器	SPA-220	1
132	内視鏡下鼻副鼻腔手術用カメラ		1
133	内視鏡用能動切除器具	MD0100	1
134	内視鏡用送水装置	ダイオニクスパワー	1
135	吸引器	RG-100	1
136	吸煙機システム	PPS604	1
137	小型吸引器	HAR-E-115-JP	1
138	心筋保護供給装置	MPS	1
139	患者加温装置	ウォームタッチ 501-5300A	5
140	手術台	マッケジャパン	3
141	手術台 移動型	マッケジャパン	6
142	手術台	ALPHAMAXX一式	1
143	整形外科用ドリルシステム		
144	止血器	ATS750	1
145	歯科用ユニット	OPU-7	1
146	治療用電気手術器	RF-60	2
147	牽引ベッド	D-76437	5
148	神経刺激装置	NIMレスポンス	1
149	移動型診療用照明	CS03	1
150	経皮的循環補助システム	キャピオックス 他	1
151	血液保冷库	MBR-107T 他	10
152	血液凝固計	ヘモクロン	1
153	製氷機	ホシザキ製氷機	1
154	超音波診断プローブ	GE	3
155	遠心ポンプ 付属品	手回しハンドル 他	1
156	酸素流量計	P-311MS	1

	機器名称	規格	数量
157	関節鏡視下術器具	LC9800	1
158	関節鏡		1
159	電動デルマトーム	00-8821-006-00	1
160	電動マイクロドリルシステム		1
161	電動式生体用洗浄機	GA530	1
162	電動式骨手術機器一式	ダイオニクスパワー他	1
163	電気手術器	VALCAN	1
164	電解質溶液下レゼクトセット	OTV-S7ProH-HD-108	1
165	高解像度モニタ	OEV191H	1
166	CEDVモニタ	VGSV	1
167	先端湾曲ビデオスコープ	LTE-S190-5	1
168	FCRシステム	富士コンピューテッドラジオグラフィ	1
169	FFPバック解凍器	FP-40	1
170	IC HAND MAGNET	HM-182	1
171	O2エアミキサー	LP-D	2
172	PAL-1システム	P-1	1
173	da Vinci Si	インテュイティブサージカル	1
174	エアシールインテリジェント	センチュリー AS-iFS1	1
175	耳鼻科手術用ナビゲーションシステム	日本メトロニック 9733560	1
176	全身麻酔器	GEヘルスケアジャパン アバンスCS2Pro	1
177	婦人科手術用HDカメラシステム	カールストルツ	1
178	ヘッドレストシステム	ユフ精機 LUNA スタンダードリトラクターシステムセット	1
179	腹腔・胸腔鏡用TVシステム	オリンパス OTV-S190	1
180	Q-SW ルビーレーザー	エムエムアンドニーク MODEL IB101	1
181	バーサパルスセレクト30w	ポストン・サイエンティフィックジャパン	1
182	无影灯	アコム STERIS vLED	1

別紙 3-11 手術室

手術室

	機器名称	規格	数量
183	モバイルCアームシステム	PHILIPS BV Vectra	1
184	無影灯	アコム STERIS LED	1
185	手術麻酔記録支援システムハードウェア	フクダコーリン CIS-OR	1
186	腹腔・胸腔鏡用TVシステム関連	オリンパス VISERA ELITEシステム	1

別紙 3-12 透析室

透析室

	機器名称	規格	数量
1	透析用監視装置	日機装 DCS-73	1
2	HDF監視装置	日機装 DCG-03	1
3	多用途透析監視装置	日機装 DCG-03	1
4	個人用透析装置	日機装 DBB-27	1
5	透析用監視装置	日機装 DCS-73	1
6	多人数用透析液供給装置	日機装 DAB-10E	1
7	個人用HDF装置	日機装 DBG-02, NRX-20PS付	1
8	逆浸透性精製水製造装置	東レ・メディカル TW-300HI	1
9	個人用逆浸透精製システム	ダイセン VCR-20P	1

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

1 機器の共同利用(平成29年度実績)	
CT :107件 MRI :150件 腹部エコー:37件 心エコー:27件 内視鏡:66件 骨塩: 11件 骨シンチ:11件 栄養相談 : 1件 X-P :1件	
医療機関延べ数	411施設
施設開設者と関係のない医療機関数	411施設
2 病床の共同利用	0件
3 図書室利用延べ人数	0人
4 研究室利用延べ人数	0人

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

1 共同利用の施設	別紙4-1-1~3
講堂、会議室、図書室、研究室、連携登録医室、駐車場	
2 共同利用の装置・機器	別紙4-2-1~5
コンピューター断層撮影装置(CT)、磁気共鳴診断装置(MR)、 超音波診断装置、SPECT装置(ガンマカメラ)、内視鏡検査装置、 栄養相談、単純エックス線撮影装置	
3 共同利用の病床 6床	別紙4-3-1~3
11階 南病棟 1119号(4床のうち1床) 北病棟 1167号(4床のうち1床)	
13階 南病棟 1301号(4床のうち1床) 北病棟 1366号(4床のうち1床)	
14階 南病棟 1401号(4床のうち1床) 北病棟 1463号(4床のうち1床)	

(注) 当該病院の建物の全体若しくは一部、設備、機器又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有 ・ 無
- イ 利用医師等登録制度の担当者氏名 : 森田 博志
職 種 : 事務職員

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

(別紙4-4)

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙4-5のとおり	355 医院			無

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	6床
--------------	----

平成29年度 高度医療機器共同利用

	CT	MR	腹部 エコー	心 エコー	内視鏡	骨塩 定量	骨 シンチ	栄養 相談	X-P	計
4月	9	16	1	1	9	0	0	0	0	36
5月	13	10	1	3	1	1	0	0	0	29
6月	11	9	1	1	3	0	0	0	0	25
7月	9	10	2	4	6	1	2	0	0	34
8月	11	9	6	3	8	0	0	0	1	38
9月	13	24	3	2	8	0	1	0	0	51
10月	11	15	6	1	3	3	2	1	0	42
11月	6	8	4	2	8	0	1	0	0	29
12月	5	8	2	0	3	0	0	0	0	18
1月	6	14	1	1	9	3	2	0	0	36
2月	7	14	5	5	2	0	1	0	0	34
3月	6	13	5	4	6	3	2	0	0	39
計	107	150	37	27	66	11	11	1	1	411

別紙 4-4

共同利用に関する規定について

川崎市立川崎病院施設等共同利用要綱	別添1
川崎市立川崎病院図書室院外利用者利用規定	別添2
川崎市立川崎病院共同利用病床運営要綱	別添3

川崎市立川崎病院施設等共同利用要綱

(目的)

第1条 この要綱は、川崎市立川崎病院（以下「病院」という。）の建物、設備、器械又は器具（以下「施設等」という。）を病院以外の医療従事者等が診療、研究、研修等のため共同利用し、もって地域医療連携の推進等を図るため、必要な事項を定めることを目的とする。

(共同利用に供する施設等)

第2条 共同利用に供する施設等は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 会議室、講堂、図書室、研究室、連携登録医室及び駐車場
- (2) 栄養相談室
- (3) 単純エックス線撮影装置、コンピューター断層撮影装置、磁気共鳴診断装置、超音波診断装置、内視鏡検査装置、SPECT装置（ガンマカメラ）
- (4) 病床6床
- (5) 前4号に掲げるもののほか、病院長が必要と認めた施設

2 前項第1号に規定する研究室及び連携登録医室の利用については、連携登録医による利用を優先する。

(医療従事者等の範囲)

第3条 施設等を利用できる者の範囲は、病院に勤務しない医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他医療従事者等で、病院長がその利用を適当と認めた者とする。

(共同利用の申し込み)

第4条 施設等を利用しようとするときは、原則として、事前に病院の地域医療部地域医療連携担当に申し出て、病院長の承認を得るものとする。この場合において第2条第2号に掲げる施設等の利用にあたっては、各所属長の確認を得るものとする。

(庶務)

第5条 施設等の共同利用に関する庶務は、地域医療部地域医療連携担当が処理する。

(その他)

第6条 施設等の共同利用について、他に定めのある施設等については、その定めによるものとする。

2 その他、共同利用について必要な事項は、地域医療支援病院検討委員会に諮るものとする。

附 則

この要綱は、平成27年11月 日から施行する。

年 月 日

共同利用病床利用申込書

(あて先)川崎市立川崎病院長

連携登録医 医療機関名

氏名

電話番号

次の患者については、私と川崎市立川崎病院の医師が協力して診療(共同診療)にあたりたいので、川崎市立川崎病院共同利用病床運営要綱第4条第1項の規定に基づき、共同利用病床の利用を申し込みます。

フリガナ		男
患者氏名		女
生年月日	年 月 日	歳
住所	〒	
希望診療科		
共同診療の目的・理由等		

- ※ 共同利用病床の利用を希望される場合は、川崎病院の連携登録医に登録してください。
- ※ 共同利用病床の利用には、別途費用(開放型病院共同指導料(Ⅰ)等)が必要になりますので、事前に、患者宛説明をお願いします(「承諾書」等を徴し、貴院にて保管してください)。
- ※ この申込書は、診療情報提供書と併せ川崎病院地域医療部宛提出してください。

(承諾書の例)

共同利用病床利用承諾書

(あて先) 連携登録医

医療機関の名称

氏名

私が川崎市立川崎病院に入院するにあたり、同病院の共同利用病床を利用することを承諾します。

年 月 日

本人署名 (自署)

生年月日 年 月 日

家族 (代諾者) 署名

川崎市立川崎病院図書室院外利用者利用規定

(趣旨)

第1条 川崎市立川崎病院図書室(以下図書室という。)は、地域医療機関との病診連携の円滑な推進を図る一助とするために、図書室の蔵書資料等の利用を提供する。このことにより地域医療に貢献することを目的とする。

(利用対象者)

第2条 図書室を利用することができる院外利用者は、次に掲げる者とする。

- (1) 院外の川崎市職員
- (2) 当病院の連携登録医
- (3) 川崎市医師会、川崎市歯科医師会、川崎市薬剤師会、川崎市看護協会、川崎市病院協会等に所属する地域の医療機関の登録医師及び医療従事者(前号に掲げる者を除く。)
- (4) 病院長が許可した者

(利用方法)

第3条 図書室を利用しようとする者(以下「利用者」という。)は、病院・医院・診療所名、住所、利用者氏名、電話番号、FAX番号、メールアドレス等を図書室に登録するものとする。

- 2 利用者は、来院前に図書室に利用申し込みをするものとする。
- 3 利用者は、図書室の利用に際して、「院外利用者図書室利用書」に必要事項を記入するものとする。
- 4 前3項及び第7条の規定にかかわらず、連携登録医が図書室を利用しようとする場合は、地域医療連携室を通じて利用の申込みを行うものとし、利用者登録等の手続を省略するものとする。

(利用時間等)

第4条 図書室の利用時間及び休室日は、次のとおりとする。

(1) 利用時間

午前10時から午後5時までとする。ただし、連携登録医にあつては、地域医療連携室と調整のうえ、必要に応じて時間外の利用を認めるものとする。

(2) 休室日

土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日並びに病院長が特に必要と認めた日。

(閲覧、貸出等)

第5条 図書室内の単行書、雑誌等は自由に閲覧できるものとする。ただし、院外貸出は行わないものとする。

(複写利用及び他機関への文献複写依頼)

第6条 図書室が所蔵している単行書、雑誌の複写利用を可能とする。この場合において複写料金実費として1枚あたり8円を徴収する。なお、同一文献からの大量複写については、著作権保護の観点から制限するものとする。

2 図書室に所蔵がない文献は、他機関へ文献複写を依頼することができる。ただし、書誌事項が明記されている文献のみ申し込みを受け付けるものとする。この場合において、複写利用に要した経費（複写料金、送料、振り込み料、手数料）は実費とする。

（検索データベースの利用）

第7条 医学中央雑誌Web版、up To Date等検索データベースを利用しようとするときは、図書室に事前に申し込みをするものとする。

平成 16年 6月 14日

平成 22年 12月 17日 改定

平成 27年 11月 1日 改定

川崎市立川崎病院共同利用病床運営要綱

(目的)

第1条 この要綱は、川崎市立川崎病院（以下「病院」という。）の病床を、地域医療機関からの共同利用の申し入れにより、適切かつ速やかに利用できるように必要な事項を定めることを目的とする。

(共同利用の内容)

第2条 病床の共同利用に関する要件は、原則として次に掲げるとおりとする。

- (1) 病院の連携登録医からの依頼に基づくものであること。
- (2) 急性期医療を必要とする患者であって、病院の診療科での診療が可能な患者であること。
- (3) 連携登録医と病院の医師が協力して診療にあたるものであること。
- (4) 共同利用の時間は、平日の午前8時30分から午後5時までとする。

(共同利用病床)

第3条 共同利用に供する病床は、次に掲げる6床とする。

- (1) 11階南病棟1119号室（4床のうち1床）
- (2) 11階北病棟1167号室（4床のうち1床）
- (3) 13階南病棟1301号室（4床のうち1床）
- (4) 13階北病棟1366号室（4床のうち1床）
- (5) 14階南病棟1401号室（4床のうち1床）
- (6) 14階北病棟1463号室（4床のうち1床）

(共同利用の申込手続き等)

第4条 病床の共同利用を行う際の手続は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 連携登録医は、共同利用病床利用申込書及び診療情報提供書並びにその他必要と認められる書類等を病院の地域医療部に提出するものとする。
- (2) 地域医療部は、前号の申込書等の提出を受けたときは、速やかに診療科と入院日程等の調整を行い、その結果を連携登録医に連絡するものとする。
- (3) 前号の調整後、病院の医師は、入院申し込みに係わる電子カルテ入力を行うものとする。

(その他)

第5条 その他共同利用病床について必要な事項は、地域医療部が関係部署と協議のうえ、地域医療支援病院検討委員会に諮るものとする。

附 則

この要綱は、平成27年12月1日から施行する。

医療機関名(医院)	住 所	主たる診療科名	地秘医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
鈴木医院	川崎区田町1-6-15	内科・小児・放射線	無
きりやま眼科	川崎区駅前本町5-2大星川崎ビル7F	眼科	無
川崎駅前クリニック	川崎区駅前本町12-1川崎駅前タワーリパーク6F	内科	無
上里整形外科	川崎区渡田向町23-5	整形・リハ	無
平安医院	川崎区藤崎4-19-15	外・内・消内	無
松田内科医院	川崎区堀之内10-24	内科・消内・循内	無
菅野皮膚科	川崎区京町1-9-11大森ビル2F	皮膚科	無
相澤整形外科	川崎区昭和1-2-12	整形・リハ	無
青山クリニック	川崎区伊勢町25-3	内科・小児科	無
こらかんクリニック	川崎区鶴管通1-2-3	内科・消内	無
阿部医院	川崎区貝塚1-9-10	内・外・呼内・アレ・循内	無
門前外科医院	川崎区東門前1-14-4	外科・消内・肛・泌・皮	無
東扇島診療所	川崎区東扇島78福利厚生センタービル2F	内・呼内・アレ	無
飯塚医院	川崎区京町2-14-2	内・呼内	無
池上クリニック	川崎区浅田3-7-15	精神科	無
みずほ眼科	川崎区小田4-39-5	眼科	無
いしいクリニック乳腺外科	川崎区砂子2-8-2三恵ビル10F B号室	外科・乳腺	無
いしい医院	川崎区桜本2-4-9	内・外・消内	無
稲葉医院	川崎区砂子1-5-22	消内・外・整形・皮・泌	無
かわさき診療所	川崎区砂子2-6-2三恵ビル10F	精神・心内	無
はらだ眼科	川崎区渡田向町22-5	眼科	無
入江医院	川崎区砂子2-6-2三恵ビル3F	内科・婦人科	無
うすい整形外科医院	川崎区砂子2-2-10第2園ビル	整形・リハ	無
総合新川橋病院	川崎区新川通1-15	眼科	無
川崎駅前眼科プラムアイクリニック	川崎区日進町1 日航ホテルビル3F	眼科	無
大江医院	川崎区川中島1-13-2	産婦人科	無
太田総合病院	川崎区日進町1-50	耳鼻咽喉科	無
大塚眼科クリニック	川崎区駅前本町12-1川崎駅前タワーリパーク7F	眼科	無

医療機関名(医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
日本鋼管病院	川崎区鋼管通1-2-1	放射線	無
小口眼科	川崎区大師駅前1-5-5ワイケイズビル201	眼科	無
おさふね耳鼻咽喉科	川崎区川中島1-12-11	耳鼻咽喉科	無
元木町眼科・内科	川崎区渡田新町2-1-1	眼科・内科	無
第一病院	川崎区元木2-7-2	救急・脳神経外科	無
かめだこどもクリニック	川崎区池田2-4-5	小児科	無
ナビタスクリニック川崎	川崎区駅前本町26-1アトレ川崎8F	小児	無
菊地外科内科クリニック	川崎区小田6-5-1	脳外・小・外・整・内	無
なかじまクリニック	川崎区中島3-9-9	循内・呼内・透析・内	無
富士見整形外科医院	川崎区中島1-1-1	整形・理学療法	無
熊谷医院	川崎区小田5-28-15	内・小児	無
京町診療所	川崎区京町2-15-6神和ビル	内・呼内・小児・アレ	無
京町クリニック	川崎区京町1-9-11	内・循内	無
黒坂医院	川崎区京町2-8-17	循内・内・呼内・消内・心内	無
協同ふじさきクリニック	川崎区藤崎4-21-2	内科・循内	無
高良医院	川崎区大島3-15-17	内科・小児科	無
後藤医院	川崎区昭和2-16-16	内科・整形・リハ	無
さくら中央クリニック	川崎区大師本町9-11	内科・呼内・循内・皮・ア・小児	無
ささきクリニック	川崎区池田1-6-3	内科・循内・消内	無
佐藤クリニック	川崎区池田2-4-17	性病・皮・アレ	無
川崎クリニック	川崎区日進町7-1川崎日進町ビルディング6・7・8F	眼科	無
柴田医院	川崎区茂田3-10-12	内科・消内	無
大師診療所	川崎区大師町6-8	内科・消内	無
川崎すずき内科クリニック	川崎区貝塚1-15-41スズビル3F	糖尿・内科	無
デルマクリニック寺前	川崎区大師町13-9	皮膚科	無
川崎七福診療所	川崎区小田1-1-2ソルティス京町ビル4F	内・消内・呼内・循内	無
日本冶金工業株式会社 川崎製造所診療所	川崎区小島町4-2	内科	無
高野眼科医院	川崎区砂子2-6-2三恵ビル3F	眼科	無

医療機関名(医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
川崎メンタルクリニック	川崎区小川町2-3川崎アオキビル第10-4F	精神科・心内	無
高橋眼科医院	川崎区昭和1-2-9	眼科	無
竹内クリニック	川崎区京町2-24-4セゾール川崎京町ハイライズ111	内科・小児科	無
昭和医院	川崎区出来野7-20	内科・小児科	無
川崎協同病院	川崎区桜本2-1-5	循内・内・呼内・消内・心内	無
田辺医院	川崎区大島上町1-10	内科・放射線	無
川崎市南部地域療育センター	川崎区中島3-3-1		無
川崎健診クリニック	川崎区駅前本町10-5クリエ川崎7・8F		無
辻眼科クリニック	川崎区渡田向町29-11アソルティ渡田向町1,2F	眼科	無
港町つばさクリニック	川崎区港町5-2-104	内科	無
富士電機株式会社 川崎工場診療所	川崎区田辺新田1-1	内科	無
港町こどもクリニック	川崎区港町5-2-103	小児	無
川崎沼田クリニック	川崎区砂子2-11-20加瀬ビル133 402号室	精神科	無
野末整形外科歯科内科	川崎区小田5-1-3	整形・リハ・内・消内	無
野田眼科内科小児科医院	川崎区藤崎1-1-3	眼科・内科・小児	無
はた内科胃腸科クリニック	川崎区渡田向町15-2	内科・消内	無
畑医院	川崎区宮前町5-1	内科・糖尿・小児	無
花田内科胃腸科医院	川崎区大島4-16-1	内・消内	無
月岡医院	川崎区小川町15-7	耳鼻咽喉科	無
真木クリニック	川崎区砂子2-11-20大幸ビル4F	内科・小児・婦人・皮	無
馬嶋病院	川崎区日進町24-15	婦人・性病内科・整形外科・リハビリテーション科	無
増田耳鼻咽喉科	川崎区京町1-9-11大森ビル2F	耳鼻咽喉科	無
三島クリニック	川崎区駅前本町5-2大星川崎ビル6F	内科・消内・皮・形成	無
川崎大師みずの耳鼻咽喉科	川崎区大師駅前1-6-17パークホームズ川崎大師表参道102	耳鼻咽喉科	無
宮川病院	川崎区大師駅前2-13-13	内・循内	無
内科小児科宮島医院	川崎区池田2-7-4	内科・小児科・神内	無
村上外科医院	川崎区大島1-5-14	内・消内・小児・外・整形・皮	無
水江診療所	川崎区水江町6-21	整形	無

医療機関名(医院)	住所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
村山整形外科	川崎区大師駅前1-6-17パークホームズ川崎大師表参道2F	整形・リハ	無
望月皮膚科医院	川崎区小田1-9-23	皮膚科	無
望月耳鼻咽喉科医院	川崎区小田1-9-23	耳鼻咽喉科	無
森田クリニック	川崎区大島5-10-5	内・外・呼内・アレ	無
森田皮膚科クリニック	川崎区大島5-10-5	皮・アレ	無
森村眼科クリニック	川崎区駅前本町26-1川崎アトレ8F	眼科	無
AOI国際病院	川崎区田町2-9-1	消外・外・肛・乳・消内・内	無
安岡クリニック	川崎区砂子2-6-2三恵ビル7F	泌尿器・性・皮・放射線・形成	無
安士医院	川崎区浜町1-22-6	内科・消内・外・肛	無
柳田診療所	川崎区中島1-13-3	内・神経	無
山下整形外科	川崎区追分町5-2 青木楽山堂ビル2F	整形・リハ	無
由井クリニック	川崎区貝塚2-4-19	内・循内・皮	無
第一クリニック	川崎区渡田新町2-3-5	脳神経外科・整形	無
三シムラ耳鼻咽喉科医院	川崎区浜町1-7-6	耳鼻咽喉科・アレ	無
和田内科医院	川崎区東門前3-1-6	内科・小児科	無
渡辺外科内科医院	川崎区大島2-17-16	整形・外・内・皮・消内	無
総合川崎臨港病院	川崎区中島3-13-1	内科・消内	無
悠翔会在宅クリニック川崎	川崎区浜町4-6-19	総合診療科・内・外・精神・皮	無
かねこ整形外科	川崎区小田1-1-2	整形	無
川崎大師いしまる内科クリニック	川崎区観音2-10-6 第3忠ぶねビル1F	内・循内	無
川崎市保健所川崎支所	川崎区東田町8番地	内科・小児科	無
川崎本町眼科クリニック	川崎区駅前本町26-2-3004	眼科	無
ベイククリニック	川崎区本町1-8-2トラストビル3階	内・精神・整形	無
あべクリニック	川崎区駅前本町4-7堀井ビル3F	内科・消化器内科、内視鏡内科、大腸・肛門外科	無
いしぐる耳鼻科	川崎区池田1丁目6-3八丁暖クリニックファーム3F	耳鼻咽喉科	無
かわさきデイケア・クリニック	川崎区南町1-8林ビル川崎1F	精神科・心療内科	無
ナカオカクリニック	幸区下平間38	内呼内循内消内外	無
森田医院	幸区南幸町3-14	内消内リウ小	無

医療機関名(医院)	住 所	主たる診療科名	地蔵医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
川越産婦人科医院	幸区中幸町3-11	産婦	無
植村内科医院	幸区戸手本町1-44-5	内循内小皮	無
パークシティクリニック	幸区小倉1-1 パークシティ新川崎クリニック棟217	内消内小外肛放	無
たつのこどもクリニック	幸区下平間359 レオNAV	小ア	無
髯本整形外科	幸区幸町4-18	整	無
新川崎眼科	幸区新川崎5-2 シンカモール3F	眼	無
浅井眼科医院	幸区南加瀬3-3-27	眼	無
さいわい鹿島田クリニック	幸区新塚越201 ルリエ新川崎	内腎	無
生駒クリニック	幸区南加瀬4-27-6	肛消内皮外整リハ	無
石永医院	幸区下平間130	内循内	無
川崎南部在宅診療所	幸区南加瀬2-8-15 1F-B		無
大野クリニック	幸区堀川町580 ソリッドスクエア西館2F	精神内内	無
大山耳鼻咽喉科診療所	幸区南幸町2-25	耳ア	無
おさないクリニック	幸区南幸町2-80 KS紅屋ビル4F	泌内	無
柘原医院	幸区小倉3-23-4	内循内消内	無
小倉かとう内科	幸区小倉5-19-23 クロスガーデン川崎2F	内消内糖	無
鎌田医院	幸区南加瀬4-30-2	循内内	無
木村整形外科	幸区小倉1-3-14	整リハ	無
くちかた整形外科	幸区新塚越201 ルリエ新川崎3F	整リウリハ	無
黒瀬クリニック	幸区神明町2-1-1	内呼内消内	無
小泉クリニック	幸区神明町2-9-5	精麻ベ	無
川崎リウマチ・内科クリニック	幸区大宮町1310 ミューザ川崎222区画	内ア リウ	無
眼科小鹿倉医院	幸区下平間144	眼	無
小林クリニック	幸区南幸町2-80	内科、循環器内科、消化器内科	無
小林内科医院	幸区紺屋町39	内	無
新川崎ごびきウィメンズクリニック	幸区鹿島田1-8-33 ほとりビル2F	婦	無
こんどうレディース診療所	幸区大宮町2-8 イクス川崎ザ・タワー1-A	婦内産	無
かい小児科・内科・耳鼻咽喉科医院	幸区南加瀬3-25-1	耳内小	無

医療機関名(医院)	住所	主たる診療科名	地域医療 連携病院 開設者との 経営上の関係
佐々木内科クリニック	幸区小向町3-21	内 小	無
三菱ふそうトラック・バス株式会社診療所	幸区中原区大倉町10	内	無
三條医院	幸区幸町2-697	内消内小	無
新川崎耳鼻咽喉科医院	幸区鹿島田2-24-11	耳	無
川崎幸クリニック	幸区南幸町1-27-1	内	無
周藤眼科クリニック	幸区河原町1-15-103	眼	無
千梨内科クリニック	幸区下平間359 レオナV201	内循内	無
関クリニック	幸区幸町3-7	内呼内消内外	無
関口医院	幸区古市場1-21	内皮小外	無
葛取内科医院	幸区矢上13-6	内消内小	無
高野アイクリニック	幸区古市場1-47 ケイワンビル1F	眼	無
高橋クリニック	幸区北加瀬2-7-20	内小皮	無
メディ在宅クリニック	幸区矢上2-7		無
たくま幸クリニック	幸区小倉3-28-12 シャリオ佐野1F	内糖小鏡内	無
たけお眼科	幸区鹿島田1-1-3 新川崎スクエア3F	眼	無
いきいきクリニック	幸区南幸町2-34-2 川崎クリスチャンセンター1F	呼内内	無
田中小児科医院	幸区塚越2-217	小	無
パークシティ眼科	幸区小倉1-1 パークシティ新川崎クリニック棟220	眼	無
株式会社 東芝小向工場 小向地区健康支援センター	幸区小向東芝町1	整	無
ステラクリニック	幸区鹿島田1-8-33 はとりビル1F	精心内	無
栗田病院	幸区小倉2-30-13	精	無
川崎セツルメント診療所	幸区古市場2-67	内	無
中林眼科医院	幸区大宮町15-4 松下ビル1F	眼	無
中村クリニック泌尿器科	幸区大宮町1310 ミューザ川崎227	泌	無
中村整形外科	幸区古市場1-21	整リウハ	無
川崎ハッピーロードメンタルクリニック	幸区中幸町4-42 金子ビル3F	精心内内	無
南武医院	幸区下平間205	内	無
あいホームケアクリニック	幸区都町37-10	循内	無

医療機関名(医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支障病院 開設者との 経営上の関係
かい小児科・内科・耳鼻咽喉科医院	幸区南加瀬3-25-1	内小	無
橋爪医院	幸区戸手2-3-12	内循内消内	無
はとりクリニック	幸区鹿島田1-8-33 はとりビル3F	内呼内循内消内	無
介護老人保健施設千の風・川崎	幸区小向町15-25		無
藤岡耳鼻咽喉科医院	幸区下平間111	耳気	無
藤田整形外科	幸区南幸町2-21 ウィステリア西口1F	整内皮アメリハ放麻	無
ふるしようクリニック	幸区大宮町12-7 TMビルⅡ1F	精心内	無
本田眼科医院	幸区南加瀬2-5-8	眼	無
パークシティ皮膚科・泌尿器科	幸区小倉1-1 パークシティ新川崎クリニック棟211	皮泌ア	無
けいクリニック	幸区南幸町3-104 中川ビル3F	精神・心療内科	無
ましも内科循環器科	幸区南幸町2-26-12	内循内皮	無
川崎中央クリニック	幸区神明町2-68-7	脳外内神内外整	無
まつくら整形外科	幸区南幸町2-21-7	整リハ	無
まつの内科クリニック	幸区新川崎5-2 シンカモール3F	内糖	無
松葉医院	幸区塚越2-159	内循内消内	無
松本眼科医院	幸区大宮町20	眼	無
まつやまクリニック	幸区下平間341 レオナⅢ2F	泌内皮	無
松山整形外科	幸区下平間341 レオナⅢ1F	整リウハ麻	無
ゆりこどもクリニック	幸区新塚越201 ルリエ新川崎5F	小	無
みつや内科診療所	幸区古川町120	内循内	無
やぎ耳鼻咽喉科・アレルギークリニック	幸区大宮町6-4 TMビル2F	耳ア	無
矢野内科医院	幸区塚越4-314-2	内糖放	無
山田小児科医院	幸区塚越1-121	小内消内	無
りえ皮膚科クリニック	幸区新塚越201 ルリエ新川崎5F	皮ア	無
さいわい整形外科	幸区戸手1-2-1 みゆきコーポラス1F	整リハ	無
ゆいクリニック	幸区下平間39-2F	小内皮	無
横山クリニック	幸区大宮町14-4 尊昌ビル4F	内消内外皮	無
鹿島田病院	幸区鹿島田1-21-20	内外	無

医療機関名(医院)	住所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
よしかわ耳鼻咽喉科	幸区新塚越201 ルリエ新川崎3F	耳	無
よしかわ耳鼻咽喉科	幸区新塚越201 ルリエ新川崎3F	眼	無
米田医院	幸区中幸町3-13	内外	無
田村外科病院	幸区戸手1-9-13	外整リハ	無
新川崎ひたち整形外科	幸区新川崎5-2シンカモール3F	整	無
ミュージア川崎こどもクリニック	幸区大宮町1310	小、小皮、皮、アレ	無
川崎市保健所幸支所	幸区戸手本町1-11-1	内小	無
かもち整形外科クリニック	幸区小倉5-19-23-211	整リハ	無
のなみクリニック	中原区小杉町1-547-83	一般内科	無
はぐくみ母子クリニック	中原区下小田中3-33-5	産婦人科、小児科	無
長谷川診療所	中原区小杉町3-252朝日パリオ武蔵小杉102	精神科・心療内科	無
さかい医院	中原区今井南町9-34	内科・循環器科	無
新丸子皮膚科・アレルギー科クリニック	中原区新丸子町748	皮膚科	無
おばな内科クリニック	中原区上新城2-4-8	内科・糖尿病内科	無
山高クリニック	中原区下小田中2-33-39	内・消内・外・リハ	無
宇藤内科医院	中原区荻宿24-37	内・小	無
やまと診療所武蔵小杉	中原区下沼部1760 カインド玉川101	内科・外科	無
わかば子供クリニック	中原区西加瀬17-8	小・アレルギー	無
メンタルクリニックエルデ	中原区小杉町3-428小杉山協ビル3階	精神科・心療内科	無
在宅テラス診療所なかはら	中原区下小田中3-16-5-1F	内科	無
亀谷内科クリニック	中原区中丸子361	一般内科・消化器内科	無

医療機関名(歯科医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
安部歯科医院	川崎区浅田2-14-18	歯科一般	無
阿保歯科医院	川崎区東門前1-14-4	歯科・小児歯科	無
安藤歯科医院	川崎区渡田2-1-1	一般歯科・小児歯科	無
いしかわ矯正歯科	川崎区東田町5-3 ホンマビル2F	矯正歯科	無
かずみ歯科医院	川崎区京町2-7-10 シャトレアオキ101	歯科	無
磯野歯科医院	川崎区砂子1-4-5	一般歯科	無
井田歯科医院	川崎区砂子1-7-3	歯科・小児歯科	無
市川歯科医院	川崎区大島5-12-5	一般歯科・小児歯科・矯正歯科	無
イナキ歯科医院	川崎区本町1-3-5 イナキビル2F	一般歯科・小児歯科	無
伊野歯科医院	川崎区東田町4-5-2F	歯科	無
いまい歯科	川崎区台町25-4	歯科・小児歯科	無
小友歯科医院	川崎区渡田3-19-12	歯科	無
上原歯科医院	川崎区大島5-13-20	一般歯科	無
新川橋クリニック 歯科	川崎区新川通2-1	歯科	無
大塚歯科クリニック	川崎区宮本町6-3 小宮ビル2・3F	歯科	無
及川歯科医院	川崎区昭和2-9-20	歯科・小児歯科・歯科口腔外科	無
勝又歯科医院	川崎区渡田2-12-7	歯科	無
金井歯科医院	川崎区砂子1-2-12	歯科	無
富士歯科医院	川崎区小田2-5-13	歯科一般	無
神谷デンタルクリニック	川崎区追分6-11	歯科・口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
野末整形外科歯科内科	川崎区小田5-1-3	整形外科・歯科・内科	無
北山歯科クリニック	川崎区大島上町1-6 ウエストフラット101	歯科・小児歯科	無
木村歯科クリニック	川崎区藤崎3-9-2	一般歯科	無
久保歯科医院	川崎区小田2-17-30		無
久米歯科医院	川崎区綱管通2-10-13	歯科一般	無
くわばら歯科医院	川崎区渡田新町3-14-3	一般歯科	無
小泉歯科医院	川崎区観音1-2-9	一般歯科・小児歯科・矯正歯科	無
古賀歯科医院	川崎区中島1-12-3	歯科	無
小林歯科医院	川崎区大島上町19-8	一般歯科	無

医療機関名(歯科医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
宮原歯科医院	川崎区旭町2-7-9	歯科	無
こみやま歯科	川崎区砂子2-2-2		無
齋藤歯科医院	川崎区昭和1-3-7	歯科	無
佐々木歯科医院	川崎区桜本2-17-21	歯科	無
佐藤歯科	川崎区駅前本町1-2 鈴庄ビル6F	歯科	無
志田歯科医院	川崎区大新駅前1-16-7-1F	歯科	無
かんのん歯科医院	川崎区観音2-9-3	歯科・小児歯科	無
関口歯科医院	川崎区東田町8 パレール311	歯科	無
川崎スマート矯正歯科	川崎区駅前本町26-4 ラウンドクロス川崎5F	矯正歯科	無
高柴歯科	川崎区渡田1-1-2 リビエール石川2F	歯科・小児歯科・矯正歯科	無
高松歯科医院	川崎区東門前2-1-11	一般歯科・小児歯科・口腔外科	無
武宮歯科医院	川崎区藤崎4-4-8	一般歯科・小児歯科	無
ハローデンタルクリニック	川崎区小田栄2-2-1 イトヨーカドー川崎店2F	歯科・小児歯科・矯正歯科・歯科口腔外科	無
田中産科クリニック	川崎区砂子2-11-20 加瀬ビル133-3F		無
田中デンタルクリニック	川崎区堤根39-1	一般歯科	無
大目谷診療所歯科	川崎区川中島1-6-5	歯科	無
田村歯科医院	川崎区東門前1-17-1クリエイティブビル川崎大師101	歯科・小児歯科・口腔外科	無
リパーク歯科	川崎区駅前本町12-1 タワーリパーク2F	歯科	無
徳丸歯科医院	川崎区小田6-5-7	一般歯科・口腔外科・小児歯科	無
中川歯科医院	川崎区渡田新町2-5-4	一般歯科・小児歯科	無
みなとまち歯科	川崎区港町12-1イトヨーカドー川崎港町店2F		無
なかの歯科	川崎区東田町11-1-103	歯科・小児歯科・矯正歯科・口腔外科	無
中村産科医院	川崎区新川通11-14 中村ビル1F	歯科	無
視津矯正歯科クリニック	川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワーリパーク5F	矯正歯科	無
ソグチ歯科医院	川崎区下並木71	歯科	無
田島産科クリニック	川崎区綱普通2-11-1	歯科一般・小児歯科	無
ひるまデンタルクリニック	川崎区南町18-18	歯科・小児歯科・口腔外科	無
ひやま歯科クリニック	川崎区昭和2-9-7フォルゴーレ川崎101	歯科・小児歯科・口腔外科	無
パール歯科医院	川崎区田町2-13-1	歯科・小児歯科・矯正歯科	無

医療機関名(歯科医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
堀歯科医院	川崎区京町1-10-9	歯科一般・矯正歯科・審美歯科	無
セゾール歯科医院	川崎区京町2-24-4-112	歯科	無
本間歯科医院	川崎区大師駅前1-7-11	歯科	無
松本歯科医院	川崎区元木2-7-1	歯科	無
宮田デンタル・オフィス	川崎区池田1-2-16-207	歯科	無
牟田歯科医院	川崎区駅前本町26-1 アトレ川崎8F	歯科一般・口腔外科・小児歯科	無
大久保歯科医院	川崎区南町3-3	歯科一般	無
朝月歯科医院	川崎区小田1-9-3	歯科	無
森田歯科医院	川崎区砂子1-1-1 追川ビル2F	歯科一般	無
矢吹歯科	川崎区大師駅前1-2-7	歯科	無
もとき歯科医院	川崎区元木1-2-7	歯科	無
横島歯科医院	川崎区京町1-9-5	歯科	無
三愛歯科医院	川崎区東門前3-4-1	歯科口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
わたなべ歯科クリニック	川崎区小川町15-13 ランドコム川崎1F	一般歯科	無
わたなべ歯科医院	川崎区大師駅前1-6-7	歯科	無
小島新田ファミリー歯科	川崎区田町2-4-13	歯科、小児、口腔外科、矯正歯科	無
新町歯科医院	川崎区渡田新町1-12-4	一般歯科、小児歯科	無
久保木歯科医院	川崎区小田4-36-12	一般歯科、口腔外科、小児歯科、歯列矯正	無
ぶどうのえだ歯科医院	川崎区富士見1-6-15-101 コンフォール川崎富士見	一般歯科、小児歯科、矯正歯科	無
高野歯科医院	川崎区渡田1-9-2	歯科、小児歯科、口腔外科	無
美加デンタルクリニック	川崎区砂子1-1-14 JTB川崎共同ビル4F	一般歯科、口腔外科	無
加藤歯科医院	幸区小向町1-10	歯科・小児歯科	無
井田歯科クリニック	幸区南加瀬5-16-7	歯科	無
サンライズ歯科クリニック	幸区大宮町1310ミュージア川崎区画番号226	歯科・小児歯科・矯正歯科・口腔外科	無
大塩歯科医院	幸区古市場2-104	歯科・小児歯科	無
おおもち歯科医院	幸区南加瀬2-33-15	一般歯科・小児歯科	無
落合歯科医院	幸区下平間204 倉田ビル2F	歯科	無
小俣歯科医院	幸区小倉2-25-8	歯科・小児歯科・口腔外科	無
タカミ歯科	幸区南加瀬3-7-32	一般歯科・小児歯科・矯正歯科	無

医療機関名(歯科医院)	住所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
たから歯科クリニック	幸区下平間205-2-1F	歯科・小児歯科・矯正歯科・口腔外科	無
愛仁歯科医院	幸区中幸町4-7 ルミナスビル1F	歯科	無
熊沢歯科医院	幸区塚越3-135-4	歯科一般・小児歯科・矯正歯科・口腔外科	無
紺野歯科医院	幸区下平間111-20 成川ビル2F	歯科	無
シオヤ歯科	幸区南幸町3-101 尻手幸ビル2F	歯科	無
プラス歯科クリニック	幸区南加瀬4-30-5 三浦ビル2F		無
清次歯科医院	幸区小倉3-30-22	歯科・小児歯科・口腔外科	無
須員歯科医院	幸区南幸町2-8-101	歯科	無
岡部歯科医院	幸区南加瀬4-18-22	一般歯科	無
竹内歯科医院	幸区神明町1-6-6	歯科	無
下平間歯科クリニック	幸区下平間214-1-1-103	歯科・口腔外科・小児歯科	無
中島歯科医院	幸区塚越4-333	一般歯科・小児歯科・歯科口腔外科	無
名取歯科	幸区南幸町2-16-2ニッコーハイム川崎202幸区中幸町4-35-4 大井ビル1階	一般歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科	無
伴場歯科医院	幸区小向西町4-145	歯科・小児歯科・矯正歯科	無
ひげうち歯科医院	幸区北加瀬1-17-2	歯科・小児歯科・障害者歯科	無
日高歯科クリニック	幸区新塚越201ルリエ新川崎3F	歯科・口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
ますもと歯科医院	幸区南幸町2-80 KS紅屋ビル1F	歯科・小児歯科・矯正歯科	無
かわさきノエル矯正歯科	幸区大宮町5 太尾ビル4F	矯正歯科	無
松村歯科	幸区下平間223		無
宮坂歯科医院	幸区鹿島田1-7-20	一般歯科・小児歯科	無
村田歯科医院	幸区中幸町4-50 布施ビル2F	歯科一般・矯正歯科	無
塚越歯科医院	幸区塚越2-159	歯科	無
安原歯科医院	幸区北加瀬1-8-5-102		無
矢野歯科医院	幸区塚越4-333-93	歯科・小児歯科・矯正歯科・口腔外科	無
えんどう歯科医院	幸区古市場1-29 ユーポーパレス2階	一般歯科	無
新川崎歯科医院	幸区新川崎3-1 イニシア新川崎101	一般歯科・矯正歯科・小児歯科・歯科口腔外科	無
吉永歯科医院	幸区中幸町1-27-4	一般歯科・小児歯科	無
川崎サン歯科医院	幸区南幸町1-2-7	歯科・小児歯科・口腔外科・矯正	無
メロディー歯科	幸区塚越1-67 サンハイツ沼田101	歯科・小児歯科・歯科口腔外科・矯正歯科	無

医療機関名(歯科医院)	住 所	主たる診療科名	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の関係
新川崎おおき矯正歯科	幸区鹿島田1-8-42	矯正歯科	無
玉置歯科医院	中原区新城3-15-18	歯科	無
てつお歯科クリニック	中原区上小田中6-20-3-2F	歯科・歯科口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
武蔵小杉クリニック	中原区小杉町1-403 タワープレイス1F	歯科一般	無
矢島歯科医院	中原区新丸子町769 新丸子ビル1階	一般歯科・小児歯科	無
及川歯科	中原区中丸子558	歯科	無
新丸子デンタルクリニック	中原区新丸子町739-2	歯科・口腔外科	無
上村歯科医院(カミラ)	中原区宮内2-14-5	歯科	無
小林歯科医院	中原区木月2-8-5	歯科・小児歯科・矯正歯科	無
いなほ歯科クリニック	中原区上小田中6-23-2-2F	歯科・歯科口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
さかい歯科	中原区新丸子町754-3 NFビル1F	歯科	無
さとう歯科医院	中原区新丸子東1-829	歯科・小児歯科	無
島歯科医院	中原区井田杉山町29-6	一般歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科	無
中ノ町歯科	中原区井田中ノ町35-5景佐ビル2F	歯科・小児歯科	無
鈴木歯科クリニック	中原区木月1-21-7小山ワールドビル3F	歯科・矯正歯科・小児歯科	無
にかもと歯科医院	中原区宮内1-8-3ハウズクリニック4F	一般歯科・矯正歯科	無
新城アイモール歯科	中原区新城3-1-3 メテエナーテ1F	歯科・小児歯科・歯科口腔外科・矯正歯科	無
藤原歯科医院	中原区新丸子東1-779	歯科	無
星野歯科クリニック	中原区西加瀬16-10	一般歯科・小児歯科・口腔外科	無
宮川歯科医院	中原区木月1-15-10	歯科	無
武蔵小杉デンタルクリニック	中原区中丸子13-20クレール武蔵小杉101	歯科・口腔外科・小児歯科・矯正歯科	無
山王歯科クリニック	中原区上丸子山王町2-1048ヤマトビル1F		無

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

1. 医師を対象とした研修(平成29年度実績)	9回	(別添1)
2. 上記以外の研修(平成29年度実績)	16回	(別添2)

2 研修の実績

(1)地域の医療従事者への実施回数	25回
(2)(1)の合計研修者数	322人

(注)1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注)2 (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 有 ・ 無

イ 研修委員会設置の有無 有 ・ 無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役職等	臨床経年数	特 記 事 項
番場 正博	医師	小児科	担当理事	43年	教育責任者
宮川 俊一	医師	皮膚科	副院長	39年	
林 徳厚	事務職員		事務局長		
綱島 たかえ	看護師		看護部長	37年	
小宮 浩一郎	医師	整形外科	部長	23年	
原 智	医師	泌尿器科	部長	22年	
津村 和太	医師	糖尿病内科	部長	21年	
玉井 博修	医師	消化器内科	部長	27年	
飯島 尚志	薬剤師		薬剤部長	37年	
杉浦 仁	医師	検査科	部長	39年	
勝野 隆	事務職員		庶務課長		
加藤 朋子	事務職員		庶務課担当係長		

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂	145.2㎡	(主な設備)可動式 プロジェクター マイク
会議室	85.8㎡	(主な設備)机 台 椅子 脚 ホワイトボード
医局カンファレンスルーム	65.0㎡	(主な設備)
看護実習室	44.8㎡	(主な設備) ベッド モデル人形3体 酸素パイピング 吸引配管 ホワイトボード2台 テーブル付椅子12脚
図書室	134.0㎡	(主な設備) 蔵書約4,350冊 電子ジャーナル22誌 電子ジャーナルパッケージ パソコン10台
研究室	9.5㎡	(主な設備)パソコン、電話、電子カルテ端末
	㎡	(主な設備)

NO.	開催月日	主催	名称	内容	参加者
1	5月19日(金)	内科 整形外科	第24回川崎リウマチ・膠原病診療懇話会	「関節リウマチの発症を予防するために」 演者：川崎市立川崎病院 リウマチ膠原病・痛風センター 川合 聡史先生	川崎病院7F講堂 院内医師 9名 院外医師 4名
2	6月23日(金)	泌尿器科	第5回川崎泌尿器科病診連携会	1 「LAP-prostatectomy導入施設におけるda-vinci system導入の初期経験」 演者：川崎市立川崎病院泌尿器科医長 服部豊也先生 2 「前立腺の癌気で身近にできる検査と治療」 演者：川崎市立川崎病院泌尿器科部長 原 智先生	川崎病院7階大会議室 院内医師・看護師 14名 院外医師 9名
3	6月26日(月)	小児科	第396回 小児科症例検討会	1 高度の黄疸と血小板減少をきたしたEBウイルス感染症の一例 演者：川崎市立川崎病院小児科医 進藤淳也先生 2 コントロール不良バセドウ病から出生した兄弟別 演者：川崎市立川崎病院新生児内科 古川律子先生 3 小児の癌病について	川崎病院7F講堂 院内医師 12名 院外医師 13名
4	7月27日(木)	精神科	精神科地域連携講演会	1 「クリニックの連携状況とてんかん治療の取り組み」 演者：ふるじょうクリニック 原典人先生 2 「精神病の発症予防研究から学ぶこと」 演者：翠龍ヒールینگセンター・おおぞらクリニック 八木剛平先生	川崎病院7F講堂 院内医師看護師 14名 院外 10名
5	10月2日(月)	外科	外科症例検討会	症例検討会 菊地先生・三原先生・夏先生・相浦先生	川崎病院医局CF 院内医師 13名 院外医師 9名
6	10月26日(水)	川崎病院	リウマチ膠原病 痛風センター連携講演会 第4回 川崎 Dry Syndrome Meeting	「さまざまな原因による口腔乾燥症候への対応」 川崎市立井田病院 産科口腔外科 部長 村岡 遼先生 「シェーグレン症候群及び皮膚疾患について」 名古屋大学大学院医学系歯学研究所 皮膚科総合診療学外野 准教授 室廣 直先生	川崎病院7F大会議室 院内 医師 17名 院外 医師 12名
7	11月13日(月)	川崎リウマチ 膠原病診療 懇話会	第26回川崎リウマチ膠原病診療懇話会	特別講演 「骨髄炎発症新情報と日常診療でのトファニシチニブの使用時注意点」 豊田加賀野病院 院長 岸本先生	川崎日新ホテル 川崎病院 医師 9名 その他 医師 25名
8	1月19日(金)	リウマチ膠原病 痛風センター	第3回リウマチ膠原病セミナー	「大型血管炎～現在の考え方と治療について」 演者：聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科 准教授	川崎病院7F講堂 院内 医師 8名 院外 医師 4名
9	2月7日(水)	川崎病院 南区・川崎区 医師会	幸・川崎病診Net	講演1 「骨粗しょう症と骨髄疾患～骨粗しょう症治療の地域連携」 演者：川崎市立川崎病院整形外科部長 上田誠司先生 講演2 「PET-CTについて」 演者：慶應義塾大学 放射線科学教員 放射線診断科 准教授 中原理純先生	川崎病院7F講堂 院内 医師・看護師・放射線技師 37名 院外 医師 26名

平成29年度 医師以外を対象とした研修 (川崎市立川崎病院 認定看護師の勉強会)

NO.	開催月	主催	共催	名称	テーマ	認定看護師	担当者	研修対象	出席者
1	5月10日(水)	教育委員会 認定看護師会	川崎病院地域医療部 川崎市社会福祉協議会	1. 脳卒中 リハビリテーション看護	t-PAの高濃度とま-	脳卒中 リハビリテーション 看護	森田沙美	神奈川県看護協会員	院内 80名 院外 0名
2				2. 知っとくナース 「摂食・嚥下障害」	本当に食べられない？ あなたはどうか援助しますか？	摂食嚥下 障害看護	古瀬真穂	川崎市 医療・介護等従事者	院内 10名 院外 13名
3	7月5日(水)	教育委員会 認定看護師会	川崎病院地域医療部 川崎市社会福祉協議会	1. 救急看護	「あれっ」	救急看護 認定看護師	奈良咲唯子	神奈川県看護協会員	院内 49名 院外 9名
4				2. 知っとくナース 「糖尿病看護」	高齢者と糖尿病看護	糖尿病看護	土屋千恵子	川崎市 医療・介護等従事者	院内 2名 院外 19名
5	8月25日(金)	看護部	川崎病院地域医療部 川崎市社会福祉協議会	出張講座	施設での感染症対策	感染管理 認定看護師	三浦由舞	障害者通所施設 こがし園	院外看護師 14名
6	8月31日(木)	地域連携部		第 回地域ケア懇談会	「私らしく暮らし」 を支える役割と活動 ～医療と介護の連携強化～	川崎病院地域医療連携室 関根希のぞ かわさき南部訪問看護ステーション 津部真子 シャパンケア川崎日蓮 寺崎伸一 介護老人保健施設 坂内大花	地域医療・介護従事者	院内 87名 院外 45名	
7	9月6日(水)	教育委員会 認定看護師会	川崎病院地域医療部 川崎市社会福祉協議会	1. うつ病看護	新人看護師のための 心が楽になる精神看護	うつ病看護 認定看護師	吉崎弘之	神奈川県看護協会員	院内 36名 院外 1名
8				2. 知っとくナース 「緩和ケア」	穏やかな看取りのために	緩和ケア 認定看護師	武橋美子	川崎市 医療・介護等従事者	院内 16名 院外 19名
9	9月22日(金)	看護部	川崎病院地域医療部 川崎市社会福祉協議会	出張講座	感染症の拡散防止から終息まで	感染管理 認定看護師	森田唯子	介護老人福祉施設 桜奇園	院外看護師 福祉職 25名
10	11月1日(水)	教育委員会 認定看護師会	川崎病院地域医療部 川崎市社会福祉協議会	1. 手術室看護	術後管理、退室基準について	手術室看護 認定看護師	久野明子	神奈川県看護協会員	院内 69名 院外 3名
11				2. 知っとくナース 「感染管理」	ノロウイルス感染症について	感染管理 認定看護師	三浦由舞	川崎市 医療・介護等従事者	院内 26名 院外 18名
12	1月10日(水)	教育委員会 認定看護師会	川崎病院地域医療部 川崎市社会福祉協議会	1. 集中ケア	あなたの病棟にもいるかも！	集中ケア 認定看護師	遠かおり	神奈川県看護協会員	院内 42名 院外 1名
13				2. 知っとくナース 「皮膚・排泄ケ ア」	高齢者へのスキンケア	皮膚排泄ケア 認定看護師	志田明日香	川崎市 医療・介護等従事者	院内 13名 院外 14名

NO.	開催月	主催	共催	名称	テーマ	認定看護領域	担当者	研修対象	参加者
14	3月7日(水)	教育委員会 認定看護師会	川崎病院地域医療部 川崎市社会福祉協議会	1. 小児救急看護	子どもの虐待	小児救急看護 認定看護師	日田美奈子	神奈川看護協会会員	院内 35名 院外 1名
15	2. 知っとくナース 「認知症看護」			基本から学ぶせん妄ケア	うつ病看護 認定看護師	吉村博之 西森香江	川崎市内 医療・介護従事者	院内 2名 院外 8名	
16	3月13日(火)	地域連携部会		第二回地域ケア懇談会	「私らしく」を支えるために ～大切な場面での関わり方を見直す～	地域連携部会員		地域医療・介護従事者	院内 45名 院外 29名

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 成松 芳明
管理担当者氏名	医事課長 佐藤 康明

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		電子カルテ (医療情報システム) 医事課	各部門システムに保管されている情報も電子カルテのサーバーに接続されているため、電子カルテから確認することができる。 電子カルテは、1患者1IDで永年保存していて、診断名はICD-10、術式はKコードを使用している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療部 地域医療連携室	/
	救急医療の提供の実績		
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績		
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概要を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	病院長 成松 芳明
閲覧担当者氏名	地域医療部 森田 博志
閲覧の求めに応じる場所	地域医療部 地域医療連携室
<p>閲覧の手続の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 連携登録医は、「閲覧申込書(別紙7-1)」に、閲覧希望日時・閲覧を希望する諸記録等を記入して地域医療部あてにFAX等により連絡を行う(申込みをする)。 2 地域医療部は申込を受け付けたら、閲覧日時の確認、調整等を行い、日時を決定する。 3 日時が決定したら、地域医療部は、当該日時を閲覧申込書に記入し、連携登録医あて返信する。 4 連携登録医が患者の診療記録を閲覧する場合は、事前に患者から同意書を取得する。 5 連携登録医は、決定した日時に地域医療部地域医療連携室において閲覧を行う(同意書も提出する)。 	

前年度の総閲覧件数		0 件
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

閲覧申込書

(あて先)川崎市立川崎病院長

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧を申し込みます。

連携登録医 医療機関の名称	閲覧希望者 氏名
閲覧希望日時	年 月 日() 時 分

閲覧を希望する諸記録

チェック	
診療記録	
患者氏名	生年月日 年 月 日
共同利用の実績	
救急医療の提供の実績	
地域の医療従事者の資質向上を図るための研修の実績	
紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	

※

諸記録の閲覧について、次の日時に当院地域医療連携室までお越しください。

年 月 日 () 時 分

川崎市立川崎病院長

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回	平成29年 5月22日開催 平成29年 7月31日開催 平成29年11月 6日開催 平成30年 2月 5日開催
委員会における議論の概要		
名称	川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会	
委員	別紙8-1 「委員構成」のとおり	
委員の就任	別紙8-2 「就任承諾書」のとおり	
履歴書	別紙8-3 「履歴書」のとおり	
委嘱状	別紙8-4 「委嘱状」のとおり	
要綱	別紙8-5 「川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会要綱」 のとおり	
標記委員会の議論の概要		
第1回 別紙8-6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議録 ・ 新規就任委員への委嘱状の交付 ・ 議事録署名人選出 ・ 紹介患者の数等について ・ その他 	
第2回 別紙8-7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議録 ・ 新規就任委員への委嘱状の交付 ・ 議事録署名人選出 ・ 紹介患者の数等について ・ その他 	
第3回 別紙8-8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議録 ・ 議事録署名人選出 ・ 紹介患者の数等について ・ その他 	
第4回 別紙8-9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議録 ・ 議事録署名人選出 ・ 紹介患者の数等について ・ その他 	
会議録等	<p>「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」第3条に基づき、標記委員会は公開としている。</p> <p>また、同条例第9条に基づき、標記委員会は会議録を作成している。</p> <p>さらに、同条例第10条に基づき、会議録の写しを閲覧に供することとしている。</p>	

特記事項 「川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会」はその前身である「川崎市立川崎病院運営委員会準備委員会」を移行し構成されているため、「就任承諾書」・「履歴書」は等は変更のあった委員を除き、準備委員会のものを用いている。

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

川崎市立川崎病院

平成29年度第1回地域医療支援病院運営委員会 会議録

1 開催日時 平成29年5月22日(月)13時30分～14時30分

2 開催場所 川崎病院4階会議室

3 出席者

(1) 委員

村山 均 (委員長)	川崎市医師会副会長
金井 久弥 (副委員長)	川崎市歯科医師会会長
吉川 智洋	川崎市医師会会長
田角 喜美雄	幸区医師会会長
髭内 宏光	幸区歯科医師会副会長
高橋 義和	川崎市薬剤師会会長
小林 由紀子	幸区薬剤師会会長
原田 美根子	川崎市看護協会常務理事
深瀬 欣之助	川崎市中央地区連合町内会会長
廣政 稔	川崎市健康福祉局保健医療政策室
雨宮 文明	川崎市役所保健福祉センター所長

(2) 川崎病院

成松 芳明	病院長
竹中 信夫	副院長
大曾根 康夫	副院長
網嶋 たかえ	副院長
中道 憲明	整形外科担当部長
鬼澤 勝弘	歯科口腔外科部長
飯島 尚志	薬剤部長
林 徳厚	事務局長
北村 修	事務局・地域医療部担当部長
川野 保夫	放射線診断科担当課長
勝野 隆	庶務課長
岡本 朋江	地域医療部担当課長
森田 博志	地域医療部担当課長

4 資料

川崎市立川崎病院 平成29年度第1回地域医療支援病院運営委員会 次第
委員名簿

座席表

資料1 紹介患者の数等について

資料2 連携登録医の登録状況について

資料3 応需状況について

資料4 医療機器共同利用について

- 資料5 地域の医療従事者を対象とした研修について
- 資料6 県がん診療連携指定病院の取組について
- 資料7 地域住民・団体等への周知活動について
- 資料8 市民公開講座について
- 資料9 ラジオによる啓発番組について

参考資料1 前回運営委員会 会議録

参考資料2 地域医療連携便り vol.15

5 内 容

(1) 開 会 (司会進行 北村担当部長 以下(5)まで)

それでは定刻でございますので、川崎市立川崎病院平成29年度第1回地域医療支援病院運営委員会を開催させていただきます。本日、進行を務めさせていただきます、事務局担当部長の北村でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、お手元の次第に沿って進めます。

なお、川崎消防署の石井委員は御欠席の御連絡がありましたので、御了承下さい。

それでは、開会にあたりまして、成松病院長から御挨拶申し上げます。

(2) 病院長あいさつ

委員の皆様、川崎病院の病院長の成松です。

本日は、当運営委員会に御出席いただきありがとうございます。おかげさまで「地域医療支援病院」のとしての運営も2年目に入り、ますます地域の皆様と連携をいろいろな形で強めていかなければと考えております。

本院は、この3月に神奈川県のがん診療連携指定病院の認可をいただきまして、従来の救急診療に加えて、今後増えていくと思われ、がん診療につきましても地域の皆様に密着し、診断治療・その後のケアを含めて関わってゆけたらと思っております。今後とも御支援のほど、よろしくお願いいたします。

(3) 委嘱状交付 (北村部長)

続きまして、人事異動等により、新たに委員となられた方の御紹介をさせていただきます。

川崎区医師会の会長が 鈴木 真様から古川 智洋様に交代されましたことから、今回の委員会から古川様に御出席をいただいております。

健康福祉局からの出席者が、保健所長 田崎 薫様から健康福祉局保健医療政策室長 廣政 稔様へ変更となり、今回から御出席をいただきます。

また、川崎消防署の京増 敏彦様が、4月1日付けの人事異動により石井 博道様に交代されました。なお、石井様におかれましては、本日、欠席のご連絡をいただいております。

続きまして、新たに委員となられた方に、委嘱状を交付させていただきます。成松委員長より、順次お席にお伺いし、委嘱状を交付させていただきます。

院長がお席に参りましたら、恐れ入りますがご起立いただければと存じます。

なお、交付の順番につきましては、誠に恐れ入りますが、今お掛けいただいている座席の順番でお渡しをさせていただきます。

(院長から出席の新委員2名に委嘱状を交付)

それではここで、恐れ入りますが委員の皆様方からも、自己紹介をいただければ存じます。

村山委員からお席の順に時計まわりで一言、お願いできればと存じます。

(委員自己紹介)

続きまして、病院側のメンバーを紹介させていただきます。

(病院側出席者自己紹介)

院長、お願いいたします。その承認からほぼ一年になりますが、まだまだ至らぬ点もたくさんございます。本日は活動の経過を報告するとともに、いろいろ御指摘・御質問いただければと思います。

(4) 配布資料の確認

次第、委員名簿、座席表、資料集(資料1～資料9)、参考資料1～2の14種類の資料が、それぞれ各委員にあることを確認。

(5) 議事録署名人選出(北村部長)

(北村部長)

本委員会につきましては、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例などに基づき、会議録の作成と、委員による当該会議録の確認が必要となっております。本委員会では、会議録の確認をしていただく委員を、議事録署名人として、委員会開催の都度、委員長に指名をお願いしたいと存じます。

村山委員長、よろしく願いいたします。

(村山委員長)

それでは指名させていただきます。

議事録署名人については、本日の委員会については、小林委員にお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。(小林委員了解)。

(小林委員)

承知いたしました。

(北村部長)

ありがとうございました。

それでは、以後の進行につきましては村山委員長にお願いいたします。

(6) 会議の公開について (進行 村山委員長)

(村山委員長)

それでは、議題に入ります前に、まず、会議の公開について委員の皆様にお諮りいたします。川崎市では、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、このような会議は原則として公開することとなっております。非公開の事由となる議題は無いとの事務局からの説明ですので、本日の会議についても公開としたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

(村山委員長)

異議がないようでしたら、公開といたしたいと思えます。傍聴者について、事務局から報告願います。

(森田担当課長)

傍聴の希望者はございません。

(7) 議 題 (進行 村山委員長)

ア 紹介患者の数等について 「資料1 紹介患者の数等について」

(中道整形外科担当部長)

整形外科の中道です。

- ・資料上段に平成28年度の4～12月の結果を示している。
- ・比較のため資料下段には平成27年度一年間の結果を示している。
- ・平成28年度の紹介患者数は年間で11,950人、月平均で約1,300人となった。
- ・逆紹介の患者数は15,618人、月平均で1,735名。
- ・初診患者の数は、19,610人、月平均で2,179名。
- ・従って紹介率は年間で紹介率60.9%・逆紹介率79.6%だった。
- ・地域医療支援病院の紹介率の承認要件紹介率50%、逆紹介率70%以上を満たしていた。

(岡本担当課長)

- ・月平均の数値の訂正をさせていただきます。

紹介患者数1344名→995名、逆紹介患者数1735名→1301名

初診患者数2179名→1634名に訂正させていただきます。

(古川委員)

- ・初診患者の紹介はどのくらいのパーセンテージなのか？
すべてが初診とは限らず紹介率とは異なるのではないか？

(大曾根副院長)

- ・紹介は全て初診です。紹介率の対象は初診に限っている。

(村山委員長)

- ・他の市の病院はどの程度の数値なのか？

(成松病院長)

- ・井田病院も承認要件数はクリアしている。

イ 連携登録医の登録状況について「資料2 連携登録医の登録状況について」

(中道整形外科担当部長)

- ・平成29年4月30日現在、川崎区の医院登録は109件。1月と比較すると4件減少した。
- ・幸区は96件、中原区が9件と変わりなかった。
- ・そのほかの地域の登録医は18件で4件増加した。
- ・歯科医院は川崎区が77件、幸区は37件、中原区が22件と変わりなかった。そのほかの地域からの登録は1件増加した。
- ・新規医院の登録は4件で麻生区の麻生総合病院、鶴見区のはしづめクリニック、浅川産婦人科、品川区の稲波脊椎・関節病院であった。
- ・新規歯科医院の登録は1件で大正区の池上通り歯科であった。
- ・登録抹消は(閉院のため)4件(タネサダタネサクリニック、宮本町中央診療所、にじのまち病院、手島耳鼻咽喉科)であった。

ウ 応需状況について「資料3 平成28年度緊急受診・入院・転院依頼・応需状況」

(大曾根副院長)

- ・前回2月の委員会でご報告しましたが、去年4月のスタートの時には入院の依頼を分けていた。現在は入院依頼の受け入れの形が変化しており、数字が減少している。
- ・1月から0件となっているが、実際には入院の依頼がないというわけではない。
- ・月日が経つに従い、とりあえず診て欲しいという入院前提とした依頼が増えている。
- ・今年度からは受診の依頼、転院の依頼の2つに分けて提示する。
- ・さらに、受診依頼のあった件数の中で入院件数が何件あったかも示していきます。
- ・昨年度全体の地域医療連携室を通じて緊急受診の依頼のあった件数は948件。応需率は89.1%だった。2月の時と大きな変化はありません。
- ・転院の依頼は185件だった。応需率は83.2%だった。
- ・先ほどの資料1に関して先生からの質問の補足ですが、紹介率は、当院受診した患者のうちの何%が紹介患者で紹介状を持ってきたという数字を表すものではありません。

厚生労働省の地域医療支援病院の計算式で紹介率は、初診の患者に限るという前提があります。

初診というのはその疾病について初診とされる診療行為が初めてなされた患者と定義されています。この表にある初診という数は、更にその計算式の中で初診の患者の中から夜間休日Fに受診された患者は引くことになるため、資料1の示す19,610人となります。

(村山委員長)

- ・当日緊急受診委依頼というのは日勤帯、深夜を含めてか？

(北村部長)

- ・日勤帯だけです。

エ 医療機器共同利用について 「資料4 医療機器共同利用」

(岡本担当課長)

地域医療部担当課長の岡本でございます。よろしく申し上げます。

- ・平成28年度の医療機器共同利用になっております。
- ・CTが年間で144件、MRIが133件等を中心に年間434件、月平均36件ご利用いただいております。
- ・また今後も統計取っていきたいと思いますが、今年度4月に関しては、すでに36件のご利用をいただいております。

(村山委員長)

- ・共同利用というのは、単なる一般の依頼を含める形を共同利用というのか？

(岡本担当課長)

- ・お電話で医療機器の利用の依頼があったものを共同利用といいます。

(村山委員長)

- ・検査してください、といったものも共同利用ということか？

(岡本担当課長)

- ・CT、MR、腹部エコー等と、栄養指導も含めています。
- ・受診の予約とはまた別になります。

オ 地域の医療従事者を対象とした研修について 「資料5 平成28年度 地域の医療従事者を対象とした研修の実施状況」

(岡本担当課長)

- ・診療部が13件、看護部を中心に看護師が研修した回数が14件。
- ・地域医療支援病院としての要件として、年12回以上の開催が定められている。
- ・28年度は合計27件開催した。
- ・看護部に関しては、認定看護師15領域27名の認定看護師がいる。
- ・認定看護師を中心に、知っとくナースの川崎病院公開講座、出張講座を昨年は8回行っている。
- ・地域の方々のご要望ということで、特養や老健施設に出向いて講義の方をさせていただいている。
- ・また、看護部の方では、平成29年度より神奈川県看護協会の共催により、施設のオープンセミナーを開催している。
- ・今後も地域の医療従事者を対象とした研修を積極的に開催していきたいと思っております。

カ 県がん診療連携指定病院の取り組みについて 「資料6 神奈川県がん診療連携指定病院指定書」

(森田担当課長)

- ・3月23日に神奈川県より、がん診療連携指定病院として指定書を交付いただきました。これにより、当院は連携指定病院となっております。
- ・がん相談支援センターを昨年8月25日から開設し、活動開始しています。
- ・4/30までの相談件数は、開始当初の8月は相談3件と大変少ない数でありましたが、

最近では件数も増えており、様々な方に認知されつつあると思われる。

・今年度からの新しい取り組みといたしまして、がん患者会の活動を開始します。

5/23(火)14:00 から第1回の活動を7階大会議室で行って参ります。

・患者会は毎月1回、原則として第4火曜日(11月は都合により第5週目)に開催してまいります。

・毎奇数月には当院の看護師等が講師になりまして、テーマを決めミニ講座を開催していく予定になっております。

・5月のテーマは「休息と眠りのヒント」です。

(看護協会 原田常務理事)

・こういった相談が一番多いか?

(森田担当課長)

・比較的多いのは、就労支援・生活上の悩みで、今後仕事を続けていけるのか?

また、続けていきたいけどどうなるか?ということと、リピーターの方も多く、診察を受けた結果について、また、次回の診察の事などが多い。

・本人だけでなく、ご家族の方からの相談もあり、いかにしてケアしていくか、などが多く見受けられる。

(看護協会 原田常務理事)

・最近では若年の方ががん患者のことが課題になっている。就労支援も大事ななと思っています。そうするとワーカーさんも関わってくるのか?

(森田担当課長)

・現在のところは、専任・専従の看護師が対応しております。

(村山委員長)

・がん患者会というのはがん患者が主体的に活動しているのか?

・会長とかがいらっしゃるのか?

(森田担当課長)

・今回の5/23の患者会が第一回目になるので、そこで出席者の状況を見ながら次第にそのような組織に組み立てていきます。

(村山委員長)

・とりあえず今のところ、立ち上げは病院主体ということか?

(森田担当課長)

・はい、理想は患者さん主体でそのサポートをしていく形が病院側の務めだと思います。

(北村部長)

・がん患者会という名称になっているが、患者サロンという形で集まっていたいただいた方たちが中心となって患者さん、またそのご家族同士でお話をしていく中でいるんだ形が出来ていくのか、と考えています。

キ 地域住民・団体等への周知活動について 「資料7 地域住民・団体等への周知活動について」

(森田担当課長)

・現在のところ、開業医様を中心に病院の広報活動を行っています。

・地域の方々の様々な組織の方にも赴いて川崎病院等について説明させていただきこ

とが趣旨となっております。

- ・前回の運営委員会以降の活動を6件網羅させていただいております。
- ・4/27には中央地区町内会役員会会長の深瀬会長にご尽力をいただきまして、中央地区町内会、役員会のほうで説明をさせていただく機会をいただきました。ありがとうございました。
- ・それぞれの団体様に必要と思われる資料もお渡しさせていただいております。(診療のご案内、がん相談支援センター、緩和ケアについてのご案内など)
- ・地域の方々へのご説明を積極的に誘わっていきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。また、情報などございましたらご提供をよろしくお願いいたします。

ク 市民公開講座について 「資料8 川崎病院 市民公開講座」

(勝野庶務課長)

- ・庶務課長の勝野でございます。
- ・川崎病院の市民公開講座とラジオ講座での地域へ向けた取り組みを二点ほどご紹介いたします。
- ・川崎病院では昨年度から市民公開講座を開始いたしました。
- ・参加者からは大変好評で、今年度も2か月に一度の割合で市民公開講座を開講することにいたしました。
- ・今年度第2弾「知っておきたい女性特有のがん疾患」をテーマに、当院の産婦人科部長の中田さくら医師と乳腺外科部長の萬谷京子医師、2名医師の公開講座を、6/21(水)14:00～当院の7階講堂で開催いたします。定員120名、参加費無料、申し込み不要です。
- ・広報については川崎区、幸区の連携登録医の皆様へ資料を送りご周知していただいているほか、川崎病院の近隣の町会にもご協力いただき、周知に努めています。
- ・5/21(日)の市政だよりに掲載し、各川崎支局の報道機関の方にも情報提供しているところです。
- ・今年度第1回につきましては、5/16(火)に開催しました。消化器外科部長の夏医師が、胃がん・食道がんについて公開講座を開催いたしました。当日の会場はミュージア川崎で行われ、参加者は100人を超えました。
- ・次回6/21(水)の市民公開講座にもより多くの方にご参加していただきたいと思っております。
- ・神奈川県がん診療連携指定病院の指定を受けたこともあり、今年度の上半期はがん疾患に特化した市民公開講座を開催していく予定です。

ケ ラジオによる啓発番組について 「資料9 市立川崎病院かわさきFMでのラジオ講座をはじめます！」

(勝野庶務課長)

- ・地域に向けた取り組みの二つ目として、川崎病院では、かわさきFMの「かわさきホット☆スタジオ」という番組(毎週月曜日から金曜日15:30～)の中で、市民の皆様が日ごろから気になる様々な病気の予防策や、最新の治療方法等に関して、川崎病院の専門の医療者がわかりやすくお伝えすることにいたしました。
- ・「かわさきホット☆スタジオ」の中の毎月第3水曜日の15:30～16:00までの30分に

- 川崎病院が枠をもって、ちょっと気になる身体の話をお伝えしていこうと思います。
- ・次回第3回目、6/21(水)出演者は摂食・嚥下障害認定看護師が、「最後まで口から美味しく食べる幸せ」について放送します。
 - ・毎月1回、このようなテーマですが川崎市民の皆様、地域住民のみなさまにお伝えしていく事を考えております。

コ 地域連携システムについて

(小児科 楢林医師)

- ・開発元といろいろ調整している中で、実際と違うところが出てきている部分がありますが、今年度中に稼働ができると思います。
- ・可能になる事項は、まず診療の予約や放射線検査、生理検査等の検査予約ができるようになります。詳細を詰めているところでございます。
- ・また、当院で行った検査結果を、クリニックの先生方に見ていただくことも可能になります。
- ・参照できる内容等を、全科お見せすることが可能かどうかについては調整中でございます。
- ・詳細が決まりましたら、再度お知らせしたいと思います。
- ・地域連携の仕組みというところになりますが、川崎病院の中に電子カルテのサーバーがありますので、そちらと、データ中継センターを介し、クリニック側に用意していただくパソコンからプリンターで出力した予約票を患者様にお渡ししていただくという形になります。患者様はその予約票を川崎病院に持参してきていただくという流れになっております。
- ・検査結果の参照については患者様の同意書が必ず必要になりますので、そこはクリニック側から患者様にお渡しいただいて、当院の方で回収するという流れになると思います。このあたりは現在詳細を詰めております。
- ・パソコン・プリンターはクリニック様の方で必要になりますので、ご理解いただきたいと思います。
- ・まだ稼働日は決定しておりませんが、利用申込書を作成いたしますので、申込書に記載事項を記入していただき、その後当院から利用開始の設定に伺います。その際に操作法等ご説明をさせていただくようになります。
- ・費用については、パソコン、プリンターを準備していただくことと、インターネット回線が必要になりますが、今お使いのものがあればそちらでかまいません。システムの使用料等は必要ありません。

(村山委員長)

- ・実際には何月ごろになるか？

(小児科 楢林医師)

- ・10月頃をめどに考えております。

(8) その他

(北村部長)

- ・次回日程は、7/31(月)を予定しております。よろしく願いいたします。

議事録署名人

川崎市立川崎病院 地域医療支援病院運営委員会

委員

川崎市立川崎病院

第2回 地域医療支援病院運営委員会 会議録

- 1 開催日時 平成28年8月1日(月) 13時30分～14時35分
- 2 開催場所 川崎病院4階会議室
- 3 出席者

(1) 委員

村山 均 (委員長)	川崎市医師会副会長
金井 久弥 (副委員長)	川崎区歯科医師会会長
鈴木 真	川崎区医師会会長
田角 喜美雄	幸区医師会会長
髭内 宏光	幸区歯科医師会副会長
高橋 義和	川崎区薬剤師会会長
小林 由紀子	幸区薬剤師会会長
深瀬 欣之助	川崎区中央地区連合町内会会長
田崎 薫	川崎市健康福祉局保健所長
雨宮 文明	川崎区役所保健福祉センター所長
京増 敏彦	川崎市消防局川崎消防署長

(2) 川崎病院

成松 芳明	病院長
竹中 信夫	副院長
大曾根 康夫	副院長
網嶋 たかえ	副院長
中道 憲明	整形外科担当部長
鬼澤 勝弘	歯科口腔外科部長
梶林 敦	小児科医長
田邊 雅史	事務局長
林 徳厚	事務局・地域医療部担当部長
川野 保夫	放射線診断科担当課長
佐藤 康明	医事課長
岡本 朋江	地域医療部担当課長
藤岡 亮太	地域医療部担当課長
増田 光代	地域医療部担当係長

4. 資料

川崎市立川崎病院 第2回 地域医療支援病院 運営委員会 次第
委員名簿

座席表

資料1 地域医療連携について

資料2 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

資料3 連携登録医の登録状況

資料4 医療機器共同利用

- 資料4 平成29年度 医療機器共同利用
- 資料5 平成29年度 地域の医療従事者を対象とした研修（医師用）
- 資料6 「PET-CT検査」について
- 資料7 「川崎市立 川崎病院 地域医療連携の会」開催概要
- 資料8-1 市民公開講座
- 資料8-2 糖尿病市民公開セミナー
- 参考資料1 前回運営委員会 会議録
- 参考資料2 広報誌「くすの木」

5 内 容

(1) 開 会（司会進行 北村担当部長 以下（6）まで）

定刻でございますので、ただ今より、川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会を開催させていただきます。

本日の進行を務めさせていただきます、川崎病院事務局担当部長の北村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、高橋委員におかれましては、本日都合により欠席とのご連絡をいただいております。

また、病院側では大普根副院長と中道担当部長が、所用により欠席とさせていただきます。

それでは、お手元の次第に沿いまして進めさせていただきます。

(2) 病院長あいさつ

病院長の成松でございます。

委員の皆様、本日はお暑い中、当委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本院も地域医療支援病院として、2年目を迎えました。皆様のご協力で、地域の方々と協力体制を作っていただいて診療しているところですが、普段の紹介、逆紹介を越えて、診療、外来や検査、治療というようなところまで、将来は協力関係を作っていかなければいけないかと思っております。より強固な地域連携を目指していきたいと思っております。

そして、救急患者様を中心にご依頼をいただいているところですが、当院は今年から、神奈川県のがん診療連携指定病院としても指名をいただきましたので、がん診療を中心に、地域の皆様の診療に、より専門的な立場から貢献していければと思っております。それに備えまして、常のがん相談支援センターや緩和ケアの外来等、整備をしながら、地域に根ざした形で、患者様の診療のみならず支援に努めていきたいと考えております。

その中で、後ほどご説明させていただきますが、今年度PET-CTを導入することが決まりました。当院の診療レベルの向上だけではなく、地域の診療に貢献できればと思っております。

その他にも、内定の段階ではありますが、この度、当院待望の腎臓内科の指導員が参りまして、腎臓内科を専門に、外来を恐らく9月からということになりますので、

腎疾患、透析等、皆様のご協力、ご支援をいただければと思っております。また、ご案内を差し上げたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それから、重ねてのお願いでございますが、9月21日に当院初めての、地域医療連携の会を予定しております。初めての試みですが、皆様方と顔の見える関係とを言われていることを初めて実践することになります。至らぬ点もあるかと思っておりますが、また、ご支援をよろしくお願いいたします。

最後に、委員の交代があり、鈴木先生に市の医師会からの推薦として委員に加わっていただきましたので、今後ともよろしくお願いいたします。

(3) 委嘱状交付

ありがとうございました。それでは、ただいま院長からもお話をさせていただきましたが、人事異動により、新たに委員となられた方のご紹介をさせていただきます。

川崎市医師会副会長でいらっしゃいました、村山 均様が副会長を退任され、市医師会から新たに鈴木 真様の推薦をいただきましたことにより、今回の委員会から鈴木様にご出席をいただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

(4) 配布資料の確認

座席表、次第、委員名簿、資料集（資料1～7）、資料8（別冊）、参考資料1～2が、それぞれ各委員にあることを確認。

(5) 委員長選出

(北村担当部長)

川崎市医師会推薦の委員が、村山委員から鈴木委員に替わったことにより、現在、本委員会の委員長は空席となっております。

川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会要綱第5条第2項により、委員長は委員の互選により進出することになっております。また、同第4項により、委員長を欠いた時には、副委員長がその職を代行するとされております。

金井副委員長の進行の元、委員長の選出をして頂きたいと存じます。よろしくお願いいたします

(金井副委員長)

委員会要綱により進行させていただきます金井です。よろしくお願いいたします。それでは、委員長選出にあたりまして、どなたか立候補、またはご推薦いただけないでしょうか。

(古川委員)

鈴木委員を推薦いたします。

(金井副委員長)

鈴木委員を推薦するとの声でしたが、みなさんいかがでしょうか。

(異議なしの声)

(金井副委員長)

鈴木委員、いかがでしょうか。

(鈴木委員)

ありがとうございます。お引き受けいたします。

(金井副委員長)

ありがとうございます。それでは、改めまして鈴木委員長からご挨拶をいただければと存じます。よろしく願いいたします。

(鈴木委員長)

川崎医師会から参りました鈴木でございます。不慣れではございますけれども、委員会の委員長を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

(金井副委員長)

ありがとうございました。それでは、以後の進行を鈴木委員長にお渡ししたいと思います。よろしく願いいたします。

(6) 議事録署名人選出

(北村担当部長)

ありがとうございました。次に、次第の「5」、議事録署名人の指名でございます。本委員会につきましては、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例などに基づき、会議録の作成と、委員による当該会議録の確認が必要となっております。本委員会では、会議録の確認をしていただく委員を、議事録署名人として、委員会開催の都度、委員長に指名をお願いしたいと存じます。

(鈴木委員長)

それでは指名させていただきます。

議事録署名人については、本日の委員会については、髭内委員をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(髭内委員)

承知いたしました。

(鈴木委員長)

ありがとうございました。よろしく願いいたします。

(北村担当部長)

ありがとうございました。それでは、これ以降の進行につきましては、鈴木委員長をお願いいたします。

(7) 会議公開の確認(進行 鈴木委員長)

(鈴木委員長)

それでは、議題に入ります前に、まず、会議の公開について委員の皆様にお諮りいたします。

川崎市では、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、このような会議は原則として公開することになっております。非公開の事由となる個人情報や企業機密にかかわる事項はないとの事務局からの説明ですので、本日の会議についても公開としたいと思いますがいかがでしょうか。

異議が無いようですので、それでは、公開といたします。

傍聴者の方について、事務局から報告をお願いいたします。

(森田担当課長)

傍聴希望者はいらっしゃいません。

(鈴木委員長)

傍聴者はいらっしゃらないというご報告でした。

(8) 議 題 (進行 鈴木委員長)

ア 紹介患者の数等について 「資料1 紹介患者の数等について」

(岡本担当課長)

地域医療部担当課長の岡本です。

- ・資料1の下段は、平成28年度の紹介率、逆紹介率、月平均の紹介患者数、逆紹介患者数、初診患者数になっており、前回の5月に説明している。
- ・資料1の上段は、平成29年度4月から6月分の結果となる。紹介患者数は、月平均で1,007人であり、昨年とほぼ同じである。逆紹介患者数は、月平均1,137人であり、28年度に比べやや低くなっている。初診患者数は、月平均1,632人であり、28年度に比べてほぼ同じである。紹介率は61.7%、逆紹介率は69.7%であり、これは地域医療支援病院の用件である「紹介率が50%であり、かつ逆紹介率が70%以上」に対し、現時点では70%をやや下回る結果となっている。
- ・ただし、4月5月は逆紹介率が低かったが、6月は76%と上昇している。今後もかかりつけ医への紹介に力を入れて生きたい。

イ 連携登録医の登録状況等について 「資料2 連携登録医の登録状況等について」

(森田担当課長)

- ・資料2の上段の医院登録数は、平成29年6月30日現在の数字である。
- ・4月30日以降の数字として、中原区が1件増加した。
- ・連携登録医の登録状況は、232件から233件となっている。
- ・資料2の下段、歯科医院の登録状況について、新たな増減は無かった。
- ・医院および歯科医院の合計登録数は、4月末では369件、6月末では370件となる。
- ・新規登録の医療機関は、中原区西加瀬の「わかば子供クリニック」の1件であり、診療科は小児科・アレルギー科である。平成29年6月1日付の登録となっている。

(鈴木委員長)

- ・閉院、開院の連携についてはどのように行われているのか？

(森田担当課長)

- ・市の医師会へ適宜電話で増減があったか確認しています。ただし事務局にはあまり確認していない為、毎月定期的に確認を行い、情報をいただきたいと思います。

(鈴木委員長)

- ・今後も市の医師会事務局との連携をよろしくお願いします。

ウ 応需状況について 「資料3 平成29年度緊急受診・入院・転院依頼 応需状況」
(岡本担当課長)

- ・資料は平成29年4月から6月までの緊急受診および転院の応需状況である。
- ・4月、5月、6月と依頼件数は増加している。ただし受け入れ困難数は全体の依頼件数である240件のうち12件となっており、応需率は95%と非常に高くなっている。
- ・緊急受診後の入院件数は144件であり、入院率も50%から60%を超え非常に高くなっている。
- ・転院依頼数は、3ヶ月で49件のうち、受け入れ困難数は2件となっており、応需率95.9%と非常に高い結果となっている。

エ 医療機器共同利用について 「資料4 平成29年度 医療機器共同利用」
(岡本担当課長)

- ・資料は平成29年度4月からの医療機器共同利用についてである。平成28年度は全体件数が434件であり月平均が36件であったのに対し、平成29年度4月からの平均は30件と、やや利用件数は減少している。

(鈴木委員長)

- ・クリニックから直接、MRIをお願いしたいという連絡が地域連携室に入るのか？

(岡本担当課長)

- ・はい。

(鈴木委員長)

- ・患者様は、初診受付は何科となるのか？

(岡本担当課長)

- ・共同利用に関しては、直接地域医療連携室に電話が入り、当日は地域医療連携室の事務が総合案内の受付からご案内しています。科は放射線科となり、窓口までご案内しています。

(鈴木委員長)

- ・初診は放射線科となるのか？

(岡本担当課長)

- ・そうです。放射線科の川野担当課長、お願いいたします。

(川野担当課長)

- ・はい。放射線科で対応しています。

(鈴木委員長)

- ・心エコーも放射線科となるのか？

(川野担当課長)

- ・心エコーは放射線科ではなく、検査科になると思います。

(岡本担当課長)

- ・はい。検査科になります。

(鈴木委員長)

- ・レポートは、患者様の検査の結果、MRIでは放射線科の先生からいただけるということでしょうか？

(岡本担当課長)

- ・はい。

(鈴木委員長)

- ・検査は、患者様または病状により、感度が高い低いというものがある。従って、検査を依頼したクリニックの先生と、レポートを書いていただく放射線科の医師との間で、例えば検査結果についてやりとりがあるのか？

(成松院長)

- ・そういったコメント等を連絡しあうようなシステムは出来ていません。場合によって、所見についての問い合わせを担当医が受けて説明する程度の連携しかないのが現状だと思います。
- ・依頼内容に関し検査前に必要がある場合は、電話等で問い合わせをするケースはあるかと思われるが、極めて少ない。依頼内容をある程度把握して検査をしているのが実状だと思います。
- ・CTの場合、スクリーニング検査に近いものが多いため、ご依頼内容を考慮し必要な撮影方法を決めることができます。MRIの場合は、ある程度目的を持っている検査が多いため、細かな打ち合わせが再度必要になる可能性は極めて低いと思います。

(鈴木委員長)

- ・心エコーは、常時循環器の先生がレポートを書かれるのか？

(成松院長)

- ・そうです。

オ 地域の医療従事者を対象とした研修について 「資料5 平成29年度 地域の医療従事者を対象とした研修（医師用）」

(岡本担当課長)

- ・年12回以上の、地域の医療従事者を対象とした研修が定められている。
- ・6月23日に泌尿器科の病診連携会、6月26日に小児科の症例検討会、7月27日に精神科の地域連携講演会を開催することができた。
- ・医師を対象にした研修が4回、看護師を対象にした研修が4回、合計8回の研修を開催している。
- ・医療、福祉、介護の連携強化を目的とした地域ケア懇談会として、8月31日に研修「「私らしく暮らす」を支える役割と活動」を開催する予定である。

カ PET-CTの導入について 「資料6 「PET-CT検査」について」

(川野担当課長)

- ・川崎市では来年度の稼働を目指し、PET-CTの準備をしている。
- ・現在は落札が終了し、設置の準備段階である。
- ・川崎市では、北部ではPET-CTが導入されているが、南部においては一台も導入されていないことから、当院が第一号となる。
- ・PET-CTは、がんなど悪性腫瘍が正常な細胞に比べて多くのブドウ糖を取り込むという性質を利用したもので、ブドウ糖に近いFDGにフッ素の18を標識した

薬剤を体内に投与して行う検査である。

- ・最新の装置のため、今までの装置に比べて低被曝で高画質である。時間も短縮され、寝台も改良されている。
- ・来年度より、従来の医療機器共同利用に「PET検査」も加わるため、是非ともご利用をよろしくお願いします。

(鈴木委員長)

- ・保険適用疾患が記載されているが、どのように依頼をしたらいいのか、依頼方法、診断内容等、もう少しわかりやすく説明する講演会等を開催して欲しい。

(川野担当課長)

- ・ぜひ開催したいと思っておりますので、その節はよろしく願いいたします。

キ 平成29年度「川崎市立 川崎病院地域医療連携の会」の開催について 「資料7 「川崎市立 川崎病院 地域医療連携の会」開催概要」

(森田担当課長)

- ・本会は、連携登録医と「顔の見える関係」を築き、その連携を強化することで地域医療支援病院としての役割をより果たしていくために、初めて開催するものである。
- ・開催口時は平成29年9月21日木曜午後7時から8時30分までを予定している。
- ・会場は京急川崎駅近くの川崎フロンティアビル2回大会議室であり、現在川崎商工会議所が入っている建物である。
- ・開催の概要は、院長からの開会のご挨拶、ご来賓の方々のご挨拶の後、懇親を深めていただきたい。
- ・その中で名刺交換等を行うことで、互いの連携を深めていければと考えている。
- ・7月28日現在では、医療機関は49機関（医院37機関、歯科12機関）で申込みがあり、参加者数は、医院68名、歯科12名の合計80名の申込みがある。
- ・締め切りが本日31日までで、最終的には参加者は増加すると思われる。

ク 市民公開講座について 「資料8-1 市民公開講座」「資料8-2 糖尿病市民公開セミナー」

(勝野庶務課長)

- ・川崎病院の地域に関われた病院作りに向けた取り組みとして、2点ほど報告する。
- ・1つめは、市民公開講座について。今年度、川崎病院では全部で6回の市民公開講座を行い、今回はその3回目である。
- ・地域の皆様に関心を持っていただくため、市民会講座のタイトルを「おしっこが出ない！？～前立腺肥大症・前立腺がんについて～」というタイトルにした。
- ・前立腺がんの最新治療ということで、4月に神奈川県のがん診療連携指定病院の指定を受けているため、がんに関する市民公開講座となっている。
- ・講師は当院泌尿器科部長の原 智、日時は8月4日（金）、14時から15時の1時間程度、当院7階講堂で定員は120名、参加費無料、申込不要となっている。
- ・2つめは資料8-2。例年糖尿病に関する公開講座を開催しているが、今年からイベント内容を充実させ、タイトルを一新し「糖尿病市民公開セミナー」と銘打って実施する。

- ・受講料は無料、定員は100名。日程は9月2日(土)、13時20分から15時30分、会場は当院7階講堂である。
- ・内容は、第1部は「糖尿病の治療について」「糖尿病の運動療法」「糖尿病との付き合い方」、第2部は、体験セミナーとして、血糖・血圧測定、フットケア、健康体操、おくすり相談、食事相談といった充実した内容で実施する。
- ・今後も様々な機会を通じ、地域に川崎病院の情報発信に努めていきたい。
(鈴木委員長)
- ・前は女性医師2名が講演していたが、参加者は女性の市民の方が多かったのか?
(勝野庶務課長)
- ・男性も数名いましたが、多くは女性の方でした。前は、産婦人科の中田部長と乳腺外科の萬屋部長から、それぞれ女性特有のがん疾患ということで、婦人科がんと乳がんのお話をさせていただいたのですが、どちらも質問が多く、予定した時間を20分から30分ほど過ぎ、最後は質問コーナーなども充実させて取り組みました。
(鈴木委員長)
- ・市民公開講座というと医師会でも行っているが、リピーターの方が多い。そうではない、広く市民の方が参加していただくことが本来の公開講座かもしれないが、毎回同じ参加者が多いのか。
(勝野庶務課長)
- ・今年度は2回開催していますが、第1回は100人オーバーの参加者がいらっしゃいまして、第2回目は50人ほどの参加者がいらっしゃいました。その中で、リピーターといわれる方は、片手ぐらいの人数でしょうか。その他は、それぞれ、内容に興味、関心のある方がご参加されていました。
(鈴木委員長)
- ・チラシ等、事前に依頼があれば、医療機関でも配布または掲示の協力が得られると思うので、対応をお願いしたい。
(勝野庶務課長)
- ・今後ご協力よろしくお願いたします。

シ その他

- (古川委員)
- ・森田担当課長、連携登録医の新規入会に関しては、市の医師会事務局にそちらから問い合わせしていただいて、その後入会まで自動的にやっていただけるのか?
(森田担当課長)
- ・いえ、確認だけです。
(古川委員)
- ・医師会から、声がけて入会してこちらの病院へ、と言わなければならないのか?
(森田担当課長)
- ・情報だけいただければ、こちらから案内をいたします。
(古川委員)
- ・確認だけされているということで、入会手続きまでして終わって下の掲示板に名前が貼り出されるところまでは至っていないということか?

(森田担当課長)

・はい。至っていません。

(古川委員)

・それはいつからか？

(森田担当課長)

・下の掲示板は納品がありましたので、これから作業に入ります。

(古川委員)

・この1年間、入会者が川崎区の場合何名かいらっしゃるが、その方達の手続きはさ
れているのか？

(森田担当課長)

・されていないと思います。

(古川委員)

・調べているというだけで、実際の連携登録医としての手続きは進んでいないという
理解でよいのか？

(森田担当課長)

・はい。申し訳ありません。

(古川委員)

・去年の4月以降の新規入会者に関して登録されていないのか？

(森田担当課長)

・現在データを持っていないので、確認します。

(田角委員)

・入会の手続きは、この運営委員会で入会の申込用紙を送ってくださいということで、
私のところにいただいております。そして新規入会の方は私のところに印鑑を貰い
に来ますので、その時にお渡しして、入りたい人は自分で手続きをだしていただく
という形にしています。この運営委員会で、以前からそういう形でやっております。

(鈴木委員長)

・当初、スタートする時には自動的に集合契約で医師会員イコール連携登録医という
ことになっていた。その辺を、しっかりこれから入会したら市立病院さんとも顔見
知りになっていただきたいので、入会して、市立病院さんと確認してね、と、そう
いうところをきちんと確認したほうがいいのでは。

(田角委員)

・自動的に、というのは市立病院で把握するのは無理だと思います。ですから、最初
立ち上げたときに区で確かに契約はいたしました。その時に、うちの区の会員全員
にアンケートをとった。それで入会したい人をピックアップして、こちらのほうに
登録していただいたわけです。それが最初です。あとは、自動的にというのは市立
病院さんに把握するのは絶対無理なことですから、先ほど言いましたとおり、申込
用紙を書いて、お願いして、いただいて、個人個人入りたい人はやってください、
という形です。

(古川委員)

・入会の申込用紙はあるのか？

(田角委員)

- ・あります。市立病院さんから送っていただければ、先生のもとにあります。新規入会での印鑑を貰いに来たときに、説明して、差し上げて、入りたい人は手続きをしていただくというかたちです。全体の、一番最初のときの自動というのは今はもう無理な話だと思います。

(鈴木委員長)

- ・入会者には改めて、登録医になるか確認したほうがいい。

(北村担当部長)

- ・ご指摘有難うございます。調整をさせていただきまして、漏れの無いようにさせていただきますと思います。

(9) その他 (進行 鈴木委員長)

(森田担当課長)

- ・次回第3回の地域医療支援病院運営委員会の日程は、平成29年11月6日(月)午後1時30分、川崎病院4階会議室で開催いたします。よろしくお願ひ致します。

7 閉 会

(院長)

本日は貴重なご意見をありがとうございました。今後とも地域連携のためにご協力いただいで当院も活動してまいります。本日はありがとうございました。

議事録署名人

川崎市立川崎病院 地域医療支援病院運営委員会

委 員

川崎市立川崎病院

平成29年度第3回地域医療支援病院運営委員会 会議録

1 開催日時 平成29年11月6日(月) 13時30分～14時30分

2 開催場所 川崎病院4階会議室

3 出席者

(1) 委員

鈴木 真 (委員長)	川崎市医師会監事
金井 久弥 (副委員長)	川崎区歯科医師会会長
古川 智洋	川崎区医師会会長
田角 喜美雄	幸区医師会会長
髭内 宏光	幸区歯科医師会副会長
高橋 義和	川崎区薬剤師会会長
小林 由紀子	幸区薬剤師会会長
原田 美根子	川崎市看護協会常務理事
深瀬 欣之助	川崎区中央地区連合町内会会長
本山 実 (代理出席)	川崎市健康福祉局保健医療政策室担当課長

(2) 川崎病院

成松 芳明	病院長
宮川 俊一	副院長
網嶋 たかえ	副院長
田熊 清継	救命救急センター兼救急科所長
鬼澤 勝弘	歯科口腔外科部長
早川 和弘	薬剤部副部長
林 徳厚	事務局長
北村 修	地域医療部担当部長
川野 保夫	放射線診断科担当課長
勝野 隆	庶務課長
吉村 元秀	医事課課長補佐
岡本 朋江	地域医療部担当課長
森田 博志	地域医療部担当課長
増田 光代	地域医療部担当係長

4 資料

平成29年度第3回川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会 次第
委員名簿
座席表

- 資料 1 紹介患者の数等について
 - 資料 2 緊急受診・転院依頼 応需状況について
 - 資料 3 緊急受診の状況について
 - 資料 4 医療機器の共同利用について
 - 資料 5 地域の医療従事者を対象とした研修について
 - 資料 6 連携登録医の登録状況について
 - 資料 7 「川崎市立川崎病院地域医療連携の会」開催結果について
 - 資料 8 平成 28 年度地域医療支援病院業務報告書について
 - 資料 9 院外処方箋への検査値掲載について
 - 資料 10 市民公開講座及びラジオ講座のお知らせについて
 - 参考資料 1 前回運営委員会 会議録
 - 参考資料 2 東田公園防災イベント 2017 チラシ
 - 参考資料 3 平成 30 年度川崎病院地域医療支援病院運営委員会開催日程について
- 委員名簿
座席表
川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会要綱

5 内 容

(1) 開 会 (司会進行 北村担当部長 以下 (6) まで)

定刻でございますので、ただ今より、川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会を開催させていただきます。

本日の進行を務めさせていただきます、川崎病院事務局担当部長の北村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、雨宮委員及び石井委員、廣政委員におかれましては、本日都合により欠席とのご連絡をいただいております。なお、廣政委員の代理といたしまして、健康福祉局保健医療政策室本山担当課長にご出席をいただいております。

それでは、お手元の次第に沿いまして進めさせていただきます。

(2) 病院長あいさつ

病院長の成松でございます。

本日はお忙しい中、川崎病院地域医療支援病院運営委員会にご出席いただき有難うございました。

最初に、9月に開催致しました「地域医療連携の会」では、医師会の先生方のご支援、そして連携登録医の皆さんのご協力をいただき、多くの方々のご参加をいただきました。当院としては初めての試みでしたが、無事終了することができました。ここで改めて御礼を申し上げさせていただきます。有難うございました。

今後も、川崎病院と地域連携医、それから患者様、住民の皆様と顔の見える関係を作っていかなければ、ということを改めて肝に銘じたところでございます。

目的を達するまでには、やらなくてはいけないことがたくさんあるかと思いますが、この運営委員会も我々の活動報告をすることも大事ですが、それだけではなく、医療以外の健康管理あるいはそういったところで地域の皆様に病院としての活動を情報提

供させていただいて、より密接な関係を作っていたらと思っております。

今後とも是非宜しくお願いいたします。

(3) 配布資料の確認

次第、資料集（資料1～10）、参考資料1～3、委員名簿、座席表、本委員会要綱が、それぞれ各委員にあることを確認。

(4) 議事録署名人選出

（北村担当部長）

ありがとうございました。次に、次第の「3」、議事録署名人の指名でございます。

本委員会につきましては、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例などに基づき、会議録の作成と、委員による当該会議録の確認が必要となっております。本委員会では、会議録の確認をしていただく委員を議事録署名人として、委員会開催の都度、委員長に指名をお願いしたいと存じます。

鈴木委員長、宜しくお願いいたします。

（鈴木委員長）

鈴木です。宜しくお願いいたします。

それでは指名させていただきます。

議事録署名人については、本日の委員会につきましては、川崎区薬剤師会会長の高橋委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

異議無しということで、よろしいでしょうか。

それでは、高橋委員宜しくお願いいたします。

（北村担当部長）

有難うございました。それでは、これ以降の進行につきましては、鈴木委員長にお願いいたします。

(5) 会議公開の確認（進行 鈴木委員長）

（鈴木委員長）

それでは、議題に入ります前に、まず会議の公開について委員の皆様にお諮りいたします。

川崎市では、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、このような会議は原則として公開することになっております。非公開の事由となる個人情報や企業機密にかかわる事項はないとの事務局からの説明ですので、本日の会議についても公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

異議無しということで、公開といたします。

(6) 傍聴者の確認

（鈴木委員長）

次に、会議の公開決定に伴い、本日の委員会に係る傍聴希望者について、事務局から報告をお願いいたします。

(森田担当課長)

傍聴希望者の方は、本日はいらっしゃいません。以上でございます。

(鈴木委員長)

有難うございました。

(7) 議 題 (進行 鈴木委員長)

ア 紹介患者の数等について 「資料1 紹介患者の数等について」

(岡本担当課長)

地域医療部担当課長の岡本です。本日は宜しくお願いたします。

- ・ 記載しているとおり、地域医療支援病院の要件のうち「紹介率が50%以上であり、かつ、逆紹介率が70%以上」という要件により、川崎病院は地域医療支援病院としての承認をいただいている。
- ・ 資料1の下段は、平成28年度の数字であり、紹介率60.9%、逆紹介率79.6%だった。
- ・ 資料1の上段は平成29年度4月から9月の結果であり、紹介患者の数は月平均1,004人、逆紹介患者の数は1,239人、初診患者の数は1,600人である。また、紹介率は62.7%、逆紹介率は77.4%である。
- ・ 前回7月31日の委員会で報告した平成29年度4月から6月分では、逆紹介率が低く59.7%だったが、かかりつけ医の先生方に紹介していただき、また運営会議等でも先生方にかかりつけ医に戻すということでお話させていただいており、今回は逆紹介率が増えている結果となっている。

イ 緊急受診・転院依頼 応需状況について 「資料2 緊急受診・転院依頼 応需状況について」

(岡本担当課長)

宜しくお願いたします。

- ・ 資料2は、4月から10月までの地域医療連携室で当日の緊急受診の受け入れのデータである。
- ・ 月平均、大体80件前後で緊急受診の依頼を受けている。
- ・ 受け入れ困難の件数は、4月、5月、6月当初は一桁台であったが、後半にかけて受け入れ困難が続いており、応需率が下がっている。
- ・ 全体として10月までの依頼件数は、540件。そのうち受け入れ困難は57件で、応需率が89.4%という結果となっている。
- ・ 平成28年度の年間応需率が年間89.1%だったので、例年と同じ状況である。
- ・ 緊急受診後の入院件数は、月平均40~50件であり、入院率は10月時点で65.8%である。これは、平成28年度の緊急受診後の入院率が39.8%であったことから、かなり高い結果となっている。
- ・ 転院の依頼件数も、16~18件と増加している。また、受け入れ困難の件数も4~7件と増えており、応需率が82.1%という結果となっている。
- ・ 平成28年度における転院の応需率が83.2%だったことから、同じような推

移できている結果となっている。

(鈴木委員長)

- ・受け入れ困難というのは、具体的にはどのような状況なのか？

(岡本担当課長)

- ・地域医療連携室の医療事務が緊急受診を受け、先生へお繋ぎしています。詳しいことは地域医療連携室の事務の日誌でしか辿ることはできないのですが、ベッドが満床だということ、また、先生方が全てオペ中で緊急受診に対応する医師がない為応需できない、といった回答を地域医療連携室では受けています。

ウ 緊急受診の状況について 「資料3 緊急受診の状況について」

(田熊救命救急センター兼救急科所長)

どうぞ宜しくお願いいたします。

- ・資料3図1-1、救急患者受入統計は、当院の医事課のデータであり、救急車の応需数を示している。
- ・救急車は川崎市が約8割、それ以外は横浜市、東京都となっている。
- ・データは今年の9月までの過去3年間のデータとなっており、約470~640台で季節による変動がある。
- ・1日あたりの台数は約16~20台となっており、冬季と夏季に増加傾向にある。
- ・現在救急車の応需率は約90%であり、10%ほどはお断りしている状況である。
- ・資料3図1-2は、三次救急、重症患者様の救急車応需数を示しており、要請に関しては100%当院は応需している。
- ・増減に関しては季節によるものと考えている。
- ・下段の表は、地域医療連携室の資料となり、今年の4月から10月まで、全540件の緊急受診状況である。
- ・540件の緊急受診件数のうち、お断りしているのは57件であり、8.9、4%の応需率となっている。この57件という件数に関しては、消防局からの救急車とはほぼ同様の数字となるかと思う。
- ・救急車を使用する患者様は重症である、とすると、件数は182件、割合は33.7%となっている。
- ・お断りする理由としては、ERの狭さの問題がある。現在7つしかストレッチャーが無い、ため、季節的な変動や時間などでゲリラ豪雨のように集中する時は、場所が無い、マンパワー不足といった状況でお断りしている。しかしながら、ERでは命に係わるような重傷者、例えば現在心臓が止まっている、あるいは止まりそうだったケースに関しては優先的に取る方針になっている。そういった重篤な急変に関してお断りしている状況というのは、現在のところ把握していない。

(鈴木委員長)

- ・地域を代表している委員の皆様、地域の住民の方からもっとこうして欲しい等、何かご意見、要望はありますか

(深瀬委員)

- ・あまり具体的な話は聞いたことがございません。

(原田委員)

- ・ お断りしたケースについては、どういう形で次に繋がるのか？例えば救急車で来た場合は、救急隊が連絡をとったりするのか？

(田熊救命救急センター兼救急科所長)

- ・ 消防局は重症で困っている場合、119番で開業医の先生や各病院を探してくれると思います。しかしながら、原則的には開業医や他の病院からの紹介で患者を受け渡す場合は、あらかじめ病院を設定しておくように、と消防局に聞くとそのような回答となります。我々は、開業医の先生は1人や2人と少ない人数でやっているのですが、本当に困ったときにそんな状況ではない。その場合は100%とれ、と指示をしています。消防局も、もし断った場合は他の病院を探してくれます。ただ、重篤ではなく時間的な余裕がある時はご不便をかける可能性はあるかと思えます。

(原田委員)

- ・ 救急車の搬送の数と、緊急応需率には相互関係はあるのか？例えば、救急隊のものも全てとっているなど。

(田熊救命救急センター兼救急科所長)

- ・ 救急車で来る場合は、あらかじめ設定をしてから来られる場合が多いので、もしかしたら前の段階で断っているかもしれないですが、あらかじめ話がついている救急車は全てとっているかと思えます。先日行われた地域医療連携の会でカードをお配りしましたが、そこには本当に重症、重篤の場合はERへ直接電話をしてください、と示してあります。3年前からそのようにお伝えしておりますので、直接ERに先生が電話をして、とっているものもあるかと思えます。恐らくそのデータは把握していないかと思われそうですので、さらにたくさんの数をとっている可能性があります。

(原田委員)

- ・ ありがとうございます。

(岡本担当課長)

- ・ 下段の表についてですが、地域医療連携室では地域の先生方からお電話をいただいた際、交通手段は何かを必ず聞いています。その時に回答された、救急車、タクシーなどといった交通手段の件数となっています。ですので、緊急性があり「救急車で！」といったものではなく、「救急車でいきます」といった、ただの輸送手段としての救急車なのですが、一応地域医療連携室のデータとして出させていただいています。働けなくて救急車で来られる方もいらっしゃいますし、酸素などを使用しており救急車を呼んで酸素をやりながら来ます、といった回答もあり、そのようなデータとなっています。ただ、平成28年度からデータをとっておりますが、平成28年度で救急車で来られた方の割合は23.7%でした。今年度は33.7%となっており、地域医療連携室で受けている緊急受診での交通手段としての救急車の割合は、増加傾向になっています。

(原田委員)

- ・ そうすると、この救急車の利用は、必ずしも重症度とは言えないということか？

(岡本担当課長)

- ・ はい。この地域医療連携室のデータでは、そうです。

(原田委員)

- ・ ありがとうございます。

ユ 医療機器の共同利用について 「資料4 医療機器の共同利用について」

(岡本担当課長)

- ・ 資料4は、10月までの医療機器の共同利用に付いて提示している。
- ・ 平成28年度の利用件数は全体で434件であり、今年度の10月までの利用件数は、9月、10月がMRI等で若干増えてきており、合計254件という結果となっている。

(鈴木委員長)

- ・ 共同利用に関しては、大体決まった先生から依頼されるものなのか？

(岡本担当課長)

- ・ 誰からの利用か、といったところまではデータをとっていませんが、地域医療連携室の事務が電話を受けている際、大体同じ先生からの依頼が多いように感じます。

オ 地域の医療従事者を対象とした研修について 「資料5 地域の医療従事者を対象とした研修について」

(岡本担当課長)

- ・ 資料5は、平成29年度の地域の医療従事者を対象とした研修となっている。
- ・ 年12回以上の研修を行うことを地域医療支援病院の要件として定められている。
- ・ 上段が医師を対象とした研修で、下段が看護師等の医療従事者を対象とした研修となっている。
- ・ 前同7月31日の委員会以降に行われた研修は、医師を対象とした研修では10月2日に外科の「症例検討会」を医局のカンファレンスルームで開催した。また、10月25日に「リウマチ膠原病通風センター連携講習会」を当院会議室で開催しており、12名の院外の先生方に参加いただいた。
- ・ 下段は、看護部または地域医療部での研修となっている。現段階で11回開催している。地域の医療従事者を対象とした研修ということで、かなりの川崎市内の医療介護従事者の方々に定期的に来ていただいております。11月1日に開催した「ノロウイルス感染症についての研修」は、感染管理の認定看護師による実技も兼ねての研修であった。

(成松院長)

- ・ 医師用の研修のうち、来年2月21日行われる予定の「幸・川崎病診NET」は(火)との表記がありますが、水曜日ですので訂正をお願いいたします。この研修では、来年導入を予定しておりますP.E.T-C.Tについての研修を予定します。また近くなりましたらご連絡をさせていただきます。是非ともご参加いただければと思います。宜しくお願いいたします。

(鈴木委員長)

- ・ 10月2日に開催された症例検討会だが、市東先生の名前が無いのだが？

(成松院長)

- ・ 記載されている名前は、恐らく発表者の氏名だと思います。

(岡本担当課長)

- ・ はい。地域の先生方からご紹介いただいた症例に対し、菊地先生、三原先生、夏先生、相浦先生に報告していただいています。

(鈴木委員長)

- ・ 看護師、医療従事者を対象とした研修が開催されているが、川崎市の看護協会にも案内は行っているのか？

(原田委員)

- ・ 地域ケア懇談会はいつもいただいております。

(岡本担当課長)

- ・ はい。その他、神奈川県看護協会にはオープンセミナーということで、認定の研修を開催するといったお知らせをさせていただいています。

(鈴木委員長)

- ・ ありがとうございます。

カ 連携登録医の登録状況等について 「資料6 連携登録医の登録状況等について」

(森田担当課長)

地域医療部の森田と申します。宜しくお願いたします。

- ・ 前回の委員会では、6月30日までの連携登録医の状況について報告した。
- ・ 今回の報告では、それ以降の11月1日までの連携登録医の状況であり、医院においては、川崎区では3件、中原区で1件、その他の地域として高津区1件、東京都町田市1件の、合計6件の登録があった。
- ・ 歯科医院については、幸区で1件、合計1件の登録があった。
- ・ この間において連携登録医を降りられた機関はなかった為、11月1日時点での連携登録医の合計件数は、前回6月末時点での370件から7件増加の、377件となった。
- ・ 医院で8月1日に新規登録のあった「北浜こどもクリニック」は、高津区で最初の登録医となる。これにより、連携登録医のいない区は多摩区のみとなった為、多摩区の先生に登録していただければと考えている。

(鈴木委員長)

- ・ ありがとうございます。前回の委員会では質問があり、川崎区の古川委員と幸区の田角委員からもご意見がありましたが、いかがでしょうか。今回の説明によるしいでしょうか。

(古川委員) (田角委員)

- ・ はい。

キ 「川崎市立川崎病院地域医療連携の会」開催結果について 「資料7 「川崎市立川崎病院地域医療連携の会」開催結果について」

(森田担当課長)

- ・ 地域医療連携の会開催につきまして、本委員会の先生方、また、医師会、歯科医師会の先生方、その他多くの方のご協力をいただきました。ありがとうございました。
- ・ 当日の開催結果について。参加していただいた医療機関は、合計67機関。申込みをいただいた人数は150名であったが、当日ご参加いただいた方は129名であり、出席率は86.0%であった。
- ・ 川崎病院側の出席者は、医師が55名、運営スタッフが29名の、合計84名だった。
- ・ 当日の会場の様子として、資料7に2枚ほど写真を載せた。特に下段の写真では、当日は多くの方にご出席いただけたかと思う。
- ・ 今回は初回ということもあり、運営上不手際、また、スムーズに進行できなかった部分もあったが、改善に努め、来年以降はよりスムーズな運営や事前の周知等が出来ればと考えている。

(鈴木委員長)

- ・ この地域医療連携の会は、年1回行われる会となるのか？

(成松院長)

- ・ 一応予定しております。これから予算をとらなければいけません。まずは職員に聞いてみましたが、反対の声はありませんでした。積極的に地域の方と交流できるアイデアをだしてやっていきたいと考えておりますので、是非ともご協力を宜しくお願いいたします。

ク 平成28年度地域医療支援病院業務報告書について 「資料8 平成28年度地域医療支援病院業務報告書について」

(森田担当課長)

- ・ 資料8は、平成28年度の地域医療支援病院業務報告書であり、この報告書は医療法に基づき毎年10月5日までに川崎市への報告が義務付けられている。
- ・ 規定どおり、平成29年10月5日に市へ報告することができた。
- ・ 本来であれば報告書すべてを資料として提出すべきではあるが、膨大な量となる為、市の公印と川崎区役所衛生課の受付印が押印されている報告書の1ページのみを資料として添付している。
- ・ 提出した10月5日から11月6日現在まで、市からの指摘事項等はない。今後指摘事があった際は、改めて報告を行いたい。

ケ 院外処方箋への検査値掲載について 「資料9 院外処方箋への検査値掲載について」

(早川副部長)

薬剤部の早川です。宜しくお願いいたします。

- ・ 平成29年11月1日より院外処方箋への検査値の記載を開始した。
- ・ 資料8の右上に記載されているとおり、検査値18項目に関して、直近3ヶ月の最新検査値のデータを記載している。

- ・ 委員会等で審議された上で記載している。
- ・ 検査値記載に関しては、3ヶ月前から患者様に対し検査値記載を開始するという資料を配布している。
- ・ 患者様より現在のところ11件の問い合わせがあり、うち6件は記載拒否であった。
- ・ ただし記載を開始した11月1日以降に関しては、問い合わせもトラブルも発生していない。

(小林委員)

- ・ 患者様が拒否した場合、検査値の記載はしないのか？

(早川副部長)

- ・ はい。事前に患者様に配布した資料では、薬剤部へ行ってくださいという形をとっていました。拒否した方は記載しないよう電子カルテ上で設定できます。また、先生方にも、患者様にその場で言われた時には、記載しないよう電子カルテで簡単に設定できるようになっている、と、やり方をお知らせしています。出来ない場合は薬剤部に言っただけであればすぐ対応できますので、大丈夫です。

(小林委員)

- ・ わかりました。

(高橋委員)

- ・ 検査値の18項目はどういう基準で設けたのか？

(早川副部長)

- ・ 昨年の6月からどの項目の検査値を記載するか検討してきました。これは全国でも実施していることです。18項目に関しては、色々な病院がそれぞれ異なる項目を記載していたのですが、先生方と相談してこの18項目を記載することにしました。

(鈴木委員長)

- ・ 患者様が拒否した場合は記載しないということだが、記載しないことで患者様が不利益になる、ということは無いのか

(早川副部長)

- ・ 検査値の記載の目的は、先生方が絶対に間違えないということは無いので、もし間違ってしまった時に薬局の薬剤師さんが検査値を見ることによって、この値は違うのではないのか、と問い合わせを貰えるという事を趣旨として開始いたしました。本来であれば記載したほうがいいのですが、どうしても嫌だという場合はいくら説明しても嫌だということなので、拒否として記載していません。

- コ 市民公開講座及びラジオ講座のお知らせについて 「資料10 市民公開講座及びラジオ講座のお知らせについて」

(勝野課長)

庶務課の勝野です。

- ・ 川崎病院では、地域の住民の皆様方に様々な啓発事業を行っている。今後予定している2点に関して紹介したい。
- ・ 「第5回 市民公開講座」について。平成29年12月20日(水)14時～

15時川崎病院7階講堂で、参加費申込み不要で実施する予定。当日の講師である内科部長の野崎医師より、「脳梗塞にならないために～脳梗塞の予防と治療～」というタイトルで公開講座を開催させていただく。

- ・ ラジオ講座について。川崎病院では、かわさきFMにある「かわさきホット☆スタジオ」というラジオ番組で、「川崎病院のちょっと気になるからだの話」と題し、様々な病気の予防策や最新の治療方法を、川崎病院の医療従事者が当日かわさきFMまで足を運んで放送している。
- ・ 日程は毎月第3水曜日15時30分から30分程。現在第7回まで終了している。今後12回まで放送予定だが、直近では11月15日に第8回「脳梗塞にならないために」が野崎内科部長、また12月20日に第9回「リハビリテーション科ってどんどころ!?」が阿部リハビリテーション科部長による放送を実施する予定である。
- ・ かわさきFMはスマートフォンでも視聴可能な為、裏面にアプリをダウンロードする手順を記載しているのでご参考ください。

(8) その他（進行 鈴木委員長）

（森田担当課長）

- ・ 「参考資料2 東田公園防災イベント2017」は、東田公園で行われる川崎駅広域商店街連合会と川崎消防署の合同による防災イベントのチラシである。川崎病院では、先生方との連携のみならず地域の方とのより一層の連携を目指しており、当院のことをより一層知っていただき、上手く利用していただくことを目的に様々な機会を捉えて地域の行事に参加している。
- ・ すでに民生委員さんの会議や町会等の会議で説明しているが、今回は商店街連合会主催による防災イベントへの看護師の派遣となる。具体的には、チラシの中の中段にある、「さくらコミュニティハウス」での講習会に、当院の看護師であり、また日本DMATの隊員であります塚田看護師を派遣し、概ね30分程度講演を行う予定となっている。
- ・ テーマは「避難所における生活の注意事項について」。最近報道があったエコノミー症候群等にならないよう、どのような注意が必要かといったことを中心に講演を行う予定となっている。
- ・ 繰り返しになるが、今後当院では積極的に地域に出て地域の方との連携を深めていきたいと考えている。このような機会があれば是非お声掛けいただきたい。
- ・ 「参考資料3 平成30年度川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会の開催日程について」は、平成30年度の本運営委員会の開催日程についての最初の検討である。来年度のことなのでこの場で決定ということでは無いが、今年度の開催の予定を合わせていくと、来年度もこのような日程になるのではないかと、という目安を掲げさせていただいた。具体的には次回第4回本委員会で議論を行っていただきたいと考えている。概ね目安として、本年のパターンを踏襲するならば、このような開催時期になるのではないかとということをお知りおきいただきたい。

(古川委員)

- ・ 個人的には、週明けの月曜日というのは中々出辛いというものがある。来年からなどそういうことではないが、皆様のご都合を今一度確認をお願いしたい。月曜日以外のほうが、個人的には適切かと考えている。
- ・ 来年度から少しご検討をお願いしたい。

(北村担当部長)

- ・ 別途照会させていただければと思います。宜しく願いいたします。

(鈴木委員長)

- ・ ありがとうございます。それでは、次回開催は平成30年2月6日(月)と記載されていますが、2月5日(月)でよろしいでしょうか。

(北村担当部長)

- ・ 失礼致しました。2月5日(月)でございます。

(鈴木委員長)

- ・ その他、事務局から何かありますか。

(北村担当部長)

- ・ ございません。

(鈴木委員長)

- ・ 以上で、議題が終了となります。それでは最後になりますが、成松院長から何かございますか。

(成松院長)

- ・ 本日はお忙しい中、お集まりいただきまして有難うございました。本日は病院のホールで、東京楽団のオータムコンサートもございますので、是非ともそういったイベントにもご参加いただければと思います。有難うございました。

(9) 閉 会 (進行 鈴木委員長)

(鈴木委員長)

以上で、議題はすべて終了いたしました。

(北村担当部長)

有難うございました。

議事録署名人

川崎市立川崎病院 地域医療支援病院運営委員会

委 員

川崎市立川崎病院

平成29年度第4回地域医療支援病院運営委員会 会議録

1 開催日時 平成30年2月5日(月) 13時30分~14時30分

2 開催場所 川崎病院4階会議室

3 出席者

(1) 委員

鈴木 真 (委員長)	川崎市医師会監事
金井 久弥 (副委員長)	川崎区歯科医師会会長
古川 智洋	川崎区医師会会長
田角 喜美雄	幸区医師会会長
髙内 宏光	幸区歯科医師会副会長
高橋 義和	川崎区薬剤師会会長
小林 由紀子	幸区薬剤師会会長
原丑 美根子	川崎市看護協会常務理事
雨宮 文明	川崎区役所保健福祉センター所長
石井 博道	川崎市消防局川崎消防署署長

(2) 川崎病院

成松 芳明	病院長
竹中 信夫	副院長
大曾根 康夫	副院長
網嶋 たかえ	副院長
田熊 清継	救命救急センター兼救急科所長
中道 憲明	整形外科担当部長
鬼澤 勝弘	歯科口腔外科部長
飯島 尚志	薬剤部部長
林 徳厚	事務局長
北村 修	事務局・地域医療部担当部長
川野 保夫	放射線診断科担当課長
勝野 隆	庶務課課長
佐藤 康明	医事課課長
岡本 朋江	地域医療部担当課長
森田 博志	地域医療部担当課長

4 資料

川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会要綱

平成29年度第4回川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会 次第

委員名簿

座席表

資料1 紹介患者の数等について

資料2 緊急受診・転院依頼 応需状況について

資料3 医療機器共同利用について

資料4 地域の医療従事者を対象とした研修について

資料5 連携登録医の登録状況について

資料6 医師の異動・採用について

資料7 患者総合サポートセンターの設置について

資料8 がん医療連携手帳の運用開始について

資料9 PET-CTの導入について

資料10 平成30年度の開催日程について

別添 市民公開講座及びラジオ講座のお知らせについて

参考資料1 前回運営委員会 会議録

参考資料2 幸・川崎病診Net開催案内(チラシ)

参考資料3 川崎病院「がん患者サロン新春イベント」開催結果について

参考資料4 くすの木 31号

5 内容

(1) 開会(司会進行 北村担当部長 以下(6)まで)

定刻でございますので、ただ今より、川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会を開催させていただきます。

本日の進行を務めさせていただきます、川崎病院事務局担当部長の北村でございます。どうぞ宜しくお願いいたします。

なお、深瀬委員、廣政委員におかれましては、本日都合により欠席とのご連絡をいただいております。

それでは、お手元の次第に沿いまして進めさせていただきます。

(2) 病院長あいさつ

病院長の成松でございます。

本日はお寒い中、川崎病院地域医療支援病院運営委員会にご出席いただき有難うございました。また本年も宜しくお願いいたします。

本日は、議題にもありますが、当院の患者総合サポートセンターの設置について、皆様のご意見を伺いたいと予定しています。是非とも宜しくお願いいたします。

(3) 配布資料の確認

本委員会要綱、次第、委員名簿、座席表、資料集(資料1～10)、別添、参考資料1～4が、それぞれ各委員にあることを確認。

(4) 議事録署名人選出

(北村担当部長)

有難うございました。次に、次第の「3」、議事録署名人の指名でございます。

本委員会につきましては、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例などに基づき、会議録の作成と、委員による当該会議録の確認が必要となっております。本委員会では、会議録の確認をしていただく委員を議事録署名人として、委員会開催の都度、委員長に指名をお願いしたいと存じます。

鈴木委員長、宜しくお願いいたします。

(鈴木委員長)

それでは指名させていただきます。

議事録署名人については、本日の委員会につきましては、金井委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

異議無しとのことで、金井委員にお願いするという承認をいただきました。

(北村担当部長)

有難うございました。それでは、これ以降の進行につきましては、鈴木委員長にお願いいたします。

(5) 会議公開の確認 (進行 鈴木委員長)

(鈴木委員長)

それでは、議題に入ります前に、まず会議の公開について委員の皆様にお諮りいたします。

川崎市では、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、このような会議は原則として公開することになっております。非公開の事由となる個人情報や企業機密にかかわる事項はないとの事務局からの説明ですので、本日の会議についても公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

異議無しということですので、公開といたします。

(6) 傍聴者の確認

(鈴木委員長)

次に、会議の公開決定に伴い、本日の委員会に係る傍聴希望者について、事務局から報告をお願いいたします。

(森田担当課長)

傍聴希望者の方は、本日はいらっしゃいません。以上でございます。

(鈴木委員長)

有難うございました。

(7) 議 題 (進行 鈴木委員長)

ア 紹介患者の数等について 「資料1 紹介患者の数等について」

(山道担当部長)

整形外科担当部長の中道でございます。

それでは、議題(1)「紹介患者の数等について」のご説明をさせていただきます。

お手元の資料1をご覧ください。

- ・平成29年度4月から12月の紹介患者数は9,053人、逆紹介患者数は11,425人、初診患者数は13,874人、紹介率65.3%、逆紹介率82.3%であった。
- ・昨年度と比較すると、初診患者数、紹介患者数、逆紹介患者数は僅かに減少しているが、地域医療支援病院の要件である紹介率50%、逆紹介率70%については、余裕を持って満たしている状況である。

(鈴木委員長)

- ・要件は満たしているとのことですが、今後紹介率を上げるための対応策はありますか？

(中道担当部長)

- ・今のところ紹介率は15%程度余裕がございます。しかし、まだ安心できる状況ではございませんし、紹介率は高いほうが地域医療支援病院として理想の姿でございますので、ますます紹介率を上げる努力を考えております。今後は、クリニックからの予約をより容易にできますよう、皆様方のストレスの無いように予約センターの改善を努めて参りたいと考えています。

(鈴木委員長)

- ・有難うございます。まだ紹介率は50%以上と余裕がありますが、さらに紹介率が上がると望ましいので、宜しく願いいたします。

イ 緊急受診・転院依頼 応需状況について 「資料2 緊急受診・転院依頼 応需状況について」

(大曾根副委員長)

12月の緊急受診・転院依頼応需状況についてご報告させていただきます。
資料2をご覧ください。

- ・登録医の先生方を中心に地域連携室に緊急受診の依頼のあった件数は94件、うち受け入れ困難は18件、応需率80.9%であった。
- ・10月、11月と比較すると、依頼件数は増加している。
- ・緊急受診後の入院件数は45件、入院率は59.2%であった。
- ・転院依頼件数は18件、うち受け入れ困難数は3件、応需率は83.3%であった。

ウ 医療機器共同利用について 「資料3 医療機器共同利用について」

(岡本担当課長)

地域医療部担当課長岡本です。宜しく願いいたします。
資料3をご覧ください。

- ・平成29年度高度医療機器共同利用件数は、10月42件、11月29件、12月18件と、共同利用の申込は減少している。
- ・記載は無いが、先ほど平成30年1月の件数の集計を行ったところ、36件と増加していた。
- ・今後、共同利用における予約枠等の取組みに関して、放射線科と共同して検討していく予定である。

(鈴木委員長)

- ・ 前回の委員会でも質問しましたが、毎回決まった医療機関が医療機器の依頼をしているのでしょうか。

(岡本担当課長)

- ・ 平成28年度、平成29年度と、どのような医療機関から申し込みがあるかをデータ化したところ、ほぼ同じ医療機関からの申込という結果となりました。

(鈴木委員長)

- ・ 固定された医療機関だけではなく、その他の医療機関にもお声かけする等を行ない、もう少し件数を増やす方向に検討しても良いかと思えます。

(岡本担当課長)

- ・ 了解しました。

エ 地域の医療従事者を対象とした研修について 「資料4 地域の医療従事者を対象とした研修について」

(岡本担当課長)

- ・ 資料4は、平成29年度地域の医療従事者を対象とした研修として、医師用と看護師用に分かれている。
- ・ 医師用の研修において、11月13日(月)『川崎リウマチ膠原病診療懇話会』、1月19日(金)『リウマチ膠原病セミナー』が開催され、2月7日(水)『幸・川崎病診Net』が開催予定である。医師用の研修は以上で終了となる。
- ・ 看護師用の研修において、1月10日(水)『集中ケア』『知っとくナース「皮膚・排泄ケア」』が終了した。3月1日(木)『小児救急看護』『知っとくナース「認知症看護」』が開催予定である。
- ・ No.16に記載されている『第2回地域ケア懇談会』は、3月2日(金)から3月13日(木)へと日程が変更になった。懇談会は、地域連携部会が主催し、川崎病院でよくある退院調整困難事例を動画形式で4事例紹介。患者さんの「私らしく」を支えるための、大切な場面での関わりを見直すディスカッションを行う予定となっている。看護師用の研修は以上で終了となる。
- ・ 平成29年度は、「年12回以上の研修」という要件を満たしている。

(古川委員)

- ・ 日程変更された研修の日にもちと曜日について再度確認したい。

(岡本担当課長)

- ・ 申し訳ございません。3月13日(火)の誤りでした。18時30分からの開催となります。また改めてお知らせさせていただきます。

(鈴木委員長)

- ・ この地域の医療従事者を対象とした研修は、患者さんの紹介率を上げるためにも大事なことです。もっと改善する点等ご意見はありますか。幸区医師会の田角委員、川崎区医師会の古川委員いかがですか。また、歯科医師会、薬剤師会の委員の皆様もご要望等ありますか。

(小林委員)

- ・ 看護師用の研修で、地域ケア懇談会に薬剤師も参加する、というのはいかがでし

ようか。包括に関わることですので、参加したいという方もいるかと思えます。

(岡本担当課長)

- ・有難うございます。川崎市内の訪問看護ステーション、川崎区の居宅介護支援事業所等、当院と連携を取らせていただいている機関、あわせて50件程度FAXを予定しております。何かフォーマットがありましたら是非一緒にFAXさせていただきます。

(小林委員)

- ・了解いたしました。有難うございます。

(田角委員)

- ・研修に関しては中々難しい問題です。先生方も、やはり興味のあるのは自分の診療科に特化した、またはそれに関連するものであれば参加したいのではないかと思います。例えば私は小児科ですが、小児科関連で皮膚科の問題が関係しているのであれば参加したい、というのがあります。ですが科が異なる、あるいは無関係な研修となると、どうしても皆さん興味を持ってくれず、開催しても集まってくれません。また、現在中々企業がついてくれない、というのも理由の1つでもあります。正直言いますと、幸区は全てこういった研修は止めました。各科に特化したものであれば、医師会で様々な勉強する会がたくさんありますので、それであれば区でわざわざ無理を行なう必要は無いのでは、という結論になりました。今後こういった形で研修を行なうかという問題は、例えば保険診療に関するものといった、やはり全員に共通するような内容でない、非情に難しいと思えます。逆に良いアイデアがあるのなら、教えていただきたい。

(鈴木委員長)

- ・有難うございました。古川委員、何かご意見ありますか。

(古川委員)

- ・要件を満たすのであれば、川崎区の講演会をそのまま流用するというのはいかがでしょうか。そうすれば、2、3回ほど増えるのではないかと思います。

(大曾根副院長)

- ・有難うございます。助かります。

(金井委員)

- ・歯科からの意見ですが、遅い時間まで診療されている開業医の先生方も多いので、平日の日中の研修というのは難しいです。ただ、地域連携、地域ケア、いわゆる退院してからの在宅ケア関連で、現在歯科医師で連携を図っていますので、そういった研修等ありましたら是非歯科のほうにもお声かけいただきたいと思えます。

(岡本担当課長)

- ・了解しました。

(金井委員)

- ・また、今度の4月の保険改定で、恐らく該当する病名が増える予定となっております。様々な病名の幅が広がることで、短期間で退院が出来るようになれば、と思えます。そういうケースにおいても、歯科口腔外科の先生方を中心に連携を図りたいと希望しています。宜しく願いいたします。

(鈴木委員長)

- ・ 有難うございました。

オ 連携登録医の登録状況等について 「資料5 連携登録医の登録状況等について」

(森田担当課長)

地域医療部の森田です。資料5、5ページをご覧ください。

連携登録医の登録状況について、前回報告いたしました平成29年11月1日現在の状況以降、平成30年2月1日現在までの状況を報告いたします。

- ・ 医院については、中原区において2件の新規登録があり、合計241件となった。
- ・ 歯科医院については、川崎区において1件の新規登録があり、合計139件となった。
- ・ 以上により、現在では前回の報告より3件増の、合計380件の連携登録医が登録されている。
- ・ 新規登録された医院は、『在宅テラス診療所なかはら』『亀谷内科クリニック』であった。
- ・ 新規登録された歯科医院は、『ぶどうのえだ歯科医院』であった。

カ 医師の異動・採用について 「資料6 医師の異動・採用について」

(成松院長)

私から簡単にご報告させていただきます。宜しくお願いたします。

- ・ 2月1日に、井田病院から呼吸器外科の成毛部長が異動となった。今後3人体制で呼吸器外科の手術を試み始め、外来等も増加する為、是非今後とも紹介をお願いしたい。
- ・ 眼科の責任者であった富田副院長が12月末で退任され、平成30年1月1日に新たに五十嵐医師が着任した。今後は堀内副院長が責任者となり、体制は変わらず4人体制で診療を行なう。
- ・ 資料に記載は無いが、川崎病院の内科には血液内科の外来が2コマある。大学病院から井田病院に血液内科の医師を派遣していただき、現在2人体制で診療を行なっている。川崎病院では外来を担当していただいている。川崎病院でも、血液疾患の患者さんを受け入れられるよう、現在内科で診療体制を検討している。恐らく4月から入院等診療体制を整えられる予定となっており、決まり次第また報告する。

(鈴木委員長)

- ・ 有難うございました。呼吸器外科の先生は、井田病院から川崎病院へ異動されたということでしょうか。

(成松院長)

- ・ はい。

(鈴木委員長)

- ・ 中原区で患者さんを井田病院に紹介する場合、手術に関しては川崎病院で手術をすることになるのでしょうか。

(成松院長)

- ・ 原則として、ご紹介いただき当院で手術することによろしければ、当院での手術となります。当院の澤藤部長が井田病院の外来を手伝い、井田病院は今後も外来を継続いたします。

(鈴木委員長)

- ・ 有難うございます。

キ 患者総合サポートセンターの設置について 「資料7 患者総合サポートセンターの設置について」

(森田担当課長)

患者総合サポートセンターの設置につきまして、ご説明させていただきます。

8ページ、資料7をご覧ください。

- ・ 現在、患者総合サポートセンター設置の計画を行っており、来年度4月1日より設置予定である。
- ・ 従来地域医療部長の下に担当部長、担当課長、地域連携室、福祉相談室、がん相談室の3つの部署がある組織図であったが、今後は、副院長兼任の所長の下に、副所長として事務職の部長、その下に地域医療連携を担当する課の課長と、相談・調整を行う課の課長の2課長を置いた、2課編成の組織となる予定である。
- ・ 地域医療連携課においては、係長1名のほか1名を配置し、連携登録医事務手続き、医療機関訪問の実施、地域連携の会の開催、研修会・公開講座開催等、対外的な交渉または調整を行なう。
- ・ 相談・調整課においては、課長の下に調整・支援、医療福祉相談・がん相談の3係体制となり、調整・支援では、連携登録医からの受診、検査予約等の受付、入院患者の退院支援等を行う。医療福祉相談では、生活する上で様々な問題を抱えている患者さんへの支援といった医療福祉相談、転院調整等を行う。がん相談では、現在1階で運営しているがん相談支援センターの運営、がん患者への支援等を行なう。
- ・ 従来前方支援については委託で行なっていたが、組織改正を機に非常勤職員4名を配置し、当院直営の体制で行なうことを予定している。
- ・ この組織改正により、より綿密な事務の遂行と、サービスの向上に務めていきたいと考えている。
- ・ 具体的な業務の時間等は現時点では検討中の段階であり、参考として資料の9ページ、10ページに現在の体制のものをベースとしたご案内を掲載している。

(鈴木委員長)

- ・ クリニックから患者さんを紹介する場合、今まで通りの電話番号に連絡をし、今まで通り地域連携室の方とお話をするということで良いでしょうか。

(森田担当課長)

- ・ はい。地域連携室という名称から患者総合サポートセンターという名称に変更いたしますが、電話番号に関しては変更しない予定です。

(鈴木委員長)

- ・ 患者さんの問い合わせに関しても変更はありませんか。

(森田担当課長)

- ・ はい。変更はしない予定です。

(岡本担当課長)

- ・ 患者さんからの予約に関しては、1階の患者予約センターで受付しています。電話番号も変更ありません。また、1階の患者予約センターに関しては、従来どおりニチイの事務が対応します。

(原田委員)

- ・ 1階にある医療福祉相談の窓口は、この組織には含まれないのでしょうか。

(岡本担当課長)

- ・ 現在、名称は『医療相談』と掲げていますが、福祉関係が多いため、名称を『医療福祉相談』と変更しました。役割としては変更無く同様に、1階での業務となります。

(原田委員)

- ・ 組織図としては変更されるが、業務は従来どおり、患者さんへの対応も従来どおりということで良いでしょうか。

(岡本担当課長)

- ・ はい。従来どおりです。

(原田委員)

- ・ 現在がん相談支援センターも開設されていたかと思いますが、この組織図内にある、がん相談ということで良いでしょうか。

(岡本担当課長)

- ・ はい。

(原田委員)

- ・ 了解しました。

ク がん医療連携手帳の運用開始について 「資料8 がん医療連携手帳の運用開始について」

(森田担当課長)

がんの地域連携クリティカルパス、医療連携手帳の運用開始について報告させていただきます。

11ページ、資料8をご覧ください。

- ・ 当院と地域のクリニック（かかりつけ医）が、がん患者さんにごがん地域連携クリティカルパスを配布し、それに基づいた治療を相互に行うことで、より計画的な治療を行なうことを目的としている。
- ・ 当院におけるメリットとして、がん治療連携計画策定料750点を得ることができる点、また日常の検査をかかりつけ医が担当することにより、負担が軽減される点がある。
- ・ かかりつけ医におけるメリットとして、がん治療連携指導料300点を得ることができる点、また計画に基づく定期的な診察の実施により、患者の来訪増加が見込まれる点がある。
- ・ 患者さんにおけるメリットとして、「いつ」「どこで」「どのような」診察・検査が

- 行なえるのかを自身がしっかりと把握し、治療を行なうことができる点がある。
- ・ 現在、国としてもこのクリティカルパスの利用を推奨しており、当院では今回乳がんのクリティカルパスの運用を開始したが、今後はその他のがんにおいても運用を行なう予定である。具体的には、現在前立腺がんのクリティカルパスを作成している。
 - ・ クリティカルパスに協力していただける地域のクリニックに働きかけを行ない、順次クリティカルパスに対応するクリニックの拡大を考えている。

(鈴木委員長)

- ・ このがん医療連携手帳は、最初は乳がんから開始するということが良いでしょうか。

(森田担当課長)

- ・ はい。まず乳がんの医療連携手帳から開始いたします。

(鈴木委員長)

- ・ 何月から開始されるのでしょうか。

(森田担当課長)

- ・ すでに厚労省には届出してありますので、了解いただければすぐにでも開始する予定です。

(鈴木委員長)

- ・ 例えば次に肺がんの医療連携手帳を作成した場合、地域のクリニックに通知等はされるのでしょうか。

(森田担当課長)

- ・ はい。肺がんの医療連携手帳の運用が開始する際には、検討をして頂いたり、また、関心のあるクリニックさんにご案内等を行ない、広げていきたいと思っております。

(鈴木委員長)

- ・ 有難うございます。

ケ PET・CTの導入について 「資料9 PET・CTの導入について」

(川野担当課長)

- ・ 放射線診断科課長の川野です。宜しくお願いたします。
- ・ 今年度PET-CTの導入が決まり、現在工事中である。
- ・ PET-CT導入に伴い、簡単なご案内を作成した。(資料9)
- ・ このご案内は3月発行予定の地域医療連携便りに掲載し、また、明後日開催される川崎病診Netでも配布予定である。
- ・ 今後の予定としては、装置が来週17日、18日に届き、3月に手続きが完了。3月半ばから作動・調整・データ収集を行ない、4月より稼働の予定である。
- ・ 初めの1ヶ月は院内の症例を対象とし、データ上問題が無いかの検証、実施時間等を確認しながら、5月を目指して地域連携の医療機器共同利用開始を考えている。
- ・ 第2弾として、実際の予約、データの配信等を検討する予定であるため、予約方法や検査の流れについての詳細に関しては、今しばらくお待ちいただきたい。

(古川委員)

- ・ 保険の適用にならないであろう症例の予約が入った場合は、どのように対応するのでしょうか。開業医側は予約をしたい、しかし病院側がこの症例は保険が通らない、となった場合、問題は無いのでしょうか。

(成松院長)

- ・ 利用開始直後は、予約段階で保険適用についてチェックを行なう体制をとりたいと考えています。最初にご連絡いただいた時点では少々難しいかもしれませんが、従来のFAXで頂戴している診療情報提供書を見た後に、一度保険適用についてご相談させていただき運用を行なう予定です。

(古川委員)

- ・ CTやMRIの予約よりもハードルが上がる、という理解で良いのでしょうか。

(成松院長)

- ・ はい。どこかの段階で、一度保険適用について相談させていただかないと難しい状況かと思えます。

(古川委員)

- ・ 査定されたら大変ですね。

(成松院長)

- ・ はい。10万円程になりますので…またそれ以外で、自費でも構わないといった患者さんに対する、自費の診療体制を考えていかなければいけないと思いますが、予約開始直後は保険診療の範囲内で行なうことを考えています。

(古川委員)

- ・ 依頼する側はある程度気楽に予約を行ない、病院側でこの症例は保険適用が難しいと判断していただける、という流れで良いのでしょうか。

(成松院長)

- ・ そうですね。このご案内にも記載してありますように、殆どが悪性腫瘍の病气診断として保険適用となります。しかし中には保険適用にならない場合もありますので、ご相談いただきながら、という流れにさせていただきたいと考えています。

(古川委員)

- ・ 4月以降から開始、ということで良いのでしょうか。

(成松院長)

- ・ はい。

(鈴木委員長)

- ・ 今の古川先生のご意見に関連していますが、今までは我々クリニックは友愛クリニックさんをお願いをして検査をしており、保険外の場合でも受け入れていただいていた。市立病院さんは公的な機関ですが、保険外でも構わないからとなった場合、どのような対応をされるのでしょうか。自費だからと気軽に受けられないとは思いますが、公的医療機関としての立場として、今後どういった方向性になるのでしょうか。受け入れることは難しい、という可能性もありますか。

(成松院長)

- ・ まずは保険適用範囲内から行ない、その後診療範囲をどこまで広げるかは、現段階では検討させていただきたいと考えています。個々のケースに対応する場合がありますし、検診等に広げていきますと問題が生じてくる可能性もあります。ど

のレベルまで受けるかというのは、医師会の先生方に相談をさせていただきながら、と考えています。しかし自費であったとしても検査が必要な場合、そして自費で承諾をいただけるのであれば、それはお断りする理由は無いはずですので、保険適用外の場合に関しては、今後しっかりと考えていきたいと思っています。

ロ 平成30年度の開催日程について 「資料10 平成30年度の開催日程について」

(森田担当課長)

それでは、平成30年度の開催日程につきまして、ご提案させていただきます。

- ・ 厚生労働省の通知により、地域医療支援病院の運営委員会を定期的に、かつ最低4半期に1回程度の開催を原則としている。
- ・ 今年度は4回開催されており、平成30年度は資料10に告示された日程で開催したいと考えている。
- ・ 日程については今年度の日程を参考にしており、4回の開催を予定している。
- ・ 今年度は月曜日の開催であったが、月曜日は難しいという意見があり、平成30年度は火曜日の開催を提案する。

(田角委員)

- ・ これは決定事項でしょうか。

(森田担当課長)

- ・ いいえ。提案の段階でございます。

(田角委員)

- ・ 個人的に言いますと、年間を通して毎月3回、火曜日に、神奈川県、保健所、保育園の健診等に行くことが決まっています。勿論本委員会に出席できる日にちもありますが、すでに出席できないと判明している日にちもあります。

(鈴木委員長)

- ・ 月曜日は週の始めだから、という意見があり、火曜日に変更されたのですよね。

(森田担当課長)

- ・ はい。前回の委員会で、月曜日は…というご意見をいただきました。

(鈴木委員長)

- ・ 水曜日や木曜日はいかがでしょう。

(森田担当課長)

- ・ 火曜日は休診の先生方が多いので、お休みの日にご足労いただくのも申し訳ないと感じています。また、水曜日は別の予定等が入ることが多いため、火曜日と選定させていただきました。

(鈴木委員長)

- ・ 色々と皆さん都合があるので調整は難しいと思います。この件については事務局で再度検討していただき、最大公約数で決めていただくのが良いかと思います。

(森田担当課長)

- ・ 了解しました。

サ 次期委員の推薦依頼について

(森田担当課長)

それでは次期委員の推薦依頼について、ご説明させていただきます。

資料は特にごさいません。

- ・ 本委員会、川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会は、川崎市立川崎病院地域医療支援病院運営委員会要綱で組織を規定している。
- ・ 要綱第4条に「委員の任期は2年とし、再任を妨げない。また、職に任期がある場合は、それぞれの職の在任期間とする。」と規定されている。
- ・ 現在の委員は平成28年度からの開始となっているため、2年目となる平成29年度の終了に伴い、任期が終了となる。
- ・ 今後各組織へ新委員の選任の依頼を考えている。
- ・ 新年度を迎えた後に、新しい委員会を設置していきたいと考えている。
- ・ 依頼のあった際には、何卒宜しくお願いいたします。

シ 市民公開講座及びラジオ講座のお知らせについて 「別添 市民公開講座及びラジオ講座のお知らせについて」

(勝野庶務課長)

庶務課長の勝野でございます。カラー刷りの別添資料をご覧ください。

日頃より市民公開講座の広報のご協力いただき有難うございます。

今年度最後になります、第6回市民公開講座のご案内でございます。

- ・ 2月16日(金)、14時から1時間程度を予定している。
- ・ 会場は当院7階講堂、定員120名、申込、参加費は無料となっている。
- ・ テーマは『ここまで進歩した白内障手術！』で、当院の眼科の責任者である副院長の堀内先生が講師を務める。
- ・ この公開講座のチラシは、事前に各連携登録医さん方に配布しているが、問い合わせ等あればご案内いただきたい。
- ・ ラジオ講座について。市民の皆様が日頃から気になる“様々な病気の予防策”や“最新の治療方法”等に関して、「川崎病院のちょっとした気になるからだの話」と題し、平成29年度1年間を通して、かわさきFMの「かわさき ホット☆スタジオ」という番組で、月に1度、医師や看護師が実際に放送局まで赴き、放送している。
- ・ ラジオ講座は残り2回となる。2月21日(水)太田食養科長による「がんと栄養」、3月21日(水・祝)中田産科・婦人科部長による「知っておきたい婦人科がんの診断・治療・予防」が放送予定である。
- ・ 今年度の市民公開講座関連は、以上で終了となる。平成30年度も同様に計画を進めており、市民公開講座は年6回の偶数月に、FMラジオ講座は毎月1回の割合で実施していきたいと考えている。

(鈴木委員長)

- ・ 市民公開講座のチラシは、現在クリニックの待合室に置いています。定員は120名となっていますが、例えば200名の申込がありお断りするような場合もあるのでしょうか。

(勝野庶務課長)

- ・今年度はそういったケースはありませんでした。多くて100名程であり、当日会場の椅子に座りきれない、という状況はありませんでした。

(鈴木委員長)

- ・クリニックの他に、調剤薬局さんや歯科のクリニックさんにも、この市民公開講座のご案内を置いていただければ、より多くの市民の方に興味を持って参加いただけるのではないのでしょうか。公開講座がどの程度必要とされているのか分かって良いと思うので、この案内を見てどのくらい患者さんが来ているのかわかりますか。

(勝野庶務課長)

- ・前回12月に行なわれた公開講座については、104名の参加がありました。次回の地域医療支援病院運営委員会で、参加者の状況等も報告したいと思います。

(鈴木委員長)

- ・有難うございます。

(成松院長)

- ・アンケートはとっていますよね。

(勝野庶務課長)

- ・はい。

(成松院長)

- ・情報源のアンケートもいただいているので、もし必要であれば次回、報告させていただきます。

(鈴木委員長)

- ・有難うございます。

ス その他 幸・川崎病診Net開催及びがん患者サロン新春イベント開催結果について 「参考資料2 幸・川崎病診Net開催案内(チラシ)」「参考資料3 川崎病院「がん患者サロン新春イベント」開催結果について」

(森田担当課長)

その他事項として2点、報告いたします。

- ・参考資料2、幸・川崎病診Net開催案内について。2月7日(水)当院7階講堂で開催される。
- ・内容の一部として、PET-CTについて情報提供を行なう予定である。
- ・共催のアステラス製薬株式会社様より、2月2日(金)の時点で、川崎区及び幸区のクリニックの20名が参加する予定であるとの連絡を受けている。まだ定員に余裕があるので、ぜひご参加いただきたい。
- ・参考資料3、川崎病院「がん患者サロン新春イベント」開催結果について。平成30年1月23日(火)当院7階大会議室にて開催された。
- ・本イベントは、がん患者やその家族の方々にお集まりいただき、それぞれの病気や自身の体験等を話し合い、情報提供を行なうことで、互いに支えあう関係を構築することを目的としている。
- ・現在は病院側が主催しているが、将来的にはがん患者さんが自主的に開催してくれるような「がん患者会」の設立を目指している。

- ・本イベントは、お正月明けということもあり、従来のがん患者サロンとは異なる内容で開催した。内容は、医師による演奏、手品、コーラス等である。
- ・当日の参加者は12名。うち9名が、がん患者サロンに初参加であった。
- ・「がん患者サロン」というと敷居が高く感じてしまう方が多いようだが、今回のイベントは大変好評であった。これにより、がん患者サロンの存在が他のがん患者さんに広がり、今後より多くの方々に参加していただければ、と考えている。
- ・次のがん患者サロンは2月開催予定であり、通常の対話形式の内容となる予定である。

(8) その他 (進行 鈴木委員長)

(鈴木委員長)

- ・その他、事務局から何かありますか。

(北村担当部長)

- ・特にございません。

(鈴木委員長)

- ・それでは最後になりますが、成松院長から何かございますか。

(成松院長)

- ・委員の皆様、色々と貴重なご意見をいただき有難うございました。先ほど、患者総合サポートセンターの設備についてご説明させていただきましたが、看板を架け替えただけではないか、と言われたいよう地域医療連携の取り組みがより向上するよう心がけていきたいと思えます。特に、最近かかりつけの先生から返信が遅いとのことご意見をいただいておりますので、大きな目標の一つとして、返信率の向上をテーマに掲げて取り組んでいきたいと考えていますので、またご指導ご意見を宜しくお願いいたします。本日は有難うございました。

(9) 閉会 (進行 鈴木委員長)

(鈴木委員長)

以上で、議題は全て終了いたしました。これで委員会を終了したいと思います。本日はご協力有難うございました。

議事録署名人

川崎市立川崎病院 地域医療支援病院運営委員会

委員

(様式例第19) 患者相談の実績 その1

患者相談を行う場所	相談窓口 (相談室 ・ その他())
主として患者相談を行ったもの (複数回答可)	医療ソーシャルワーカー 6名(常勤3名 非常勤3名)
患者相談件数	24,976件
患者相談の概要	
<p>1 主な相談内容</p> <ol style="list-style-type: none">1) 受診・受療援助2) 医療費や生活費に関わる経済的問題(各種保険制度、医療費助成制度、生活保護等)3) 退院援助相談(在宅への退院、移転院・他施設への転院や入所)4) 児童・高齢者虐待に関する事5) 医療・福祉サービス活用援助 (自立支援サービス、介護保険サービス) 等 <p>2 主に連絡を取り、連携を取り合う地域の関係機関</p> <ol style="list-style-type: none">1) 経済的問題—区役所(福祉事務所、障害者担当、国民健康保険担当)、加入の健康保険者2) 在宅生活についての支援—地域包括ケアセンター、担当ケアマネージャー、区役所(高齢者担当、障害者担当、児童担当)3) 医療・福祉サービス—区役所関係部署(高齢者担当、障害者担当、児童担当)4) 転院・施設入所について—療養病院、回復期リハビリ病棟、緩和ケア病棟等の担当MSW	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績 その2

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・ その他 (アドボカシー相談室)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	アドボカシー相談員2名
患者相談件数	250 件
患者相談の概要	
<p>・胃痛で内科を受診したときに検査もしないで胃薬を処方された。次の日症状が悪化し別のクリニックに言ったら腸閉塞と言われた。</p> <p>・胸部大動脈瘤の手術のときに体の中に管を入れている。インプラントなのに病院ではカードを出してくれない。</p> <p>・テニス肘で受診した。スポーツをしているのでスポーツ専門医を勧められたが、どこに行けばいいかわからない。病院の名前など具体的に教えて欲しかった。</p> <p>・予約の日子供たちが熱を出していけなくなった。落ち着いてやっと思えるようになったので病院に電話をしたら予約は取ることができないと言われた。ルール、ルールとばかり言うのではなくもっと柔軟に対応して欲しい。</p> <p>【職員の対応に関して】</p> <p>・担当のワーカーさんの対応が悪い。人として対応してくれていない。とげのある言い方。</p> <p>・病棟看護師の思いやりの無い言動</p> <p>・総合案内で初診料がかかるかもしれないとか2から3時間待つかもしれないとか曖昧な言い方。</p> <p>・「待ち時間が長い」と言ったら「他のクリニックに行ってください」と言われた。</p> <p>・医師は患者の目も見ずに話も聞いてくれない。</p> <p>【その他】</p> <p>・川崎病院は医師がころころ変わりすぎる。経過説明をするのも大変だし信頼関係を築くのも大変である。</p> <p>アドボカシー患者相談は、医療に関する患者・家族の不安、疑問、苦情等の解決に努めることにより、患者・家族と医療者間の相互理解を深め、医療安全及び患者サービス向上を図ることが目的です。相談員は患者・家族が抱く不安、疑問、苦情を受け止め、患者・家族の利益・権利を尊重しながら、問題解決のための活動(調査、調整等)・支援を行なっています。</p>	
<p>2 対策等</p> <p>ア 個別に対策を講じ、相談者に回答している。</p> <p>イ アドボカシー事例集を作成し、職員の啓蒙活動を行っている。</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式例第20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構による評価(平成27年12月15~16日)	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 地域の医療機関様宛「外来診療担当表」を毎月送付している。 地域の医療機関様宛「地域医療連携便り」を年3回発行し、送付している。 当院のホームページで地域医療連携室の頁を設けて掲載している。	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 医師・看護師・MSWなど多職種で連携して退院調整を実施している。 29年度実績(件数) 退院調整カンファレンス 1,146件 訪問看護関連 287件 訪問診療関連 264件 ケアマネージャー調整 696件 退院時医療処置 631件 (うち在宅酸素調整173件)	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 神奈川脳卒中地域連携パス 29年度 32件 大腿骨頸部骨折地域連携パス 29年度 29件 ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 神奈川東部脳卒中の会に参加している。(年2回) 神奈川東部脳卒中連携の会(年2回) 神奈川東部FNTN連携の会(年2回) 各医療機関主催の地域連携の会に参加している。	